

2025年3月期 決算説明会

2025年5月20日

株式会社 小森コーポレーション

Contents

1. 2025年3月期業績および次期計画
最高財務責任者（CFO）橋本 巖
2. 2025年3月期 経営概況
代表取締役社長（CEO）持田 訓

2025年3月期業績および次期計画

2025年 5月20日

株式会社 小森コーポレーション

Contents

P.5～12	連結業績のまとめ
P.13	決算概要P/L
P.14	売上高・損益の推移
P.15～18	地域別・品目別 受注高
P.19～22	地域別・品目別 売上高
P.23	受注残高の推移
P.24	製品在庫の推移
P.25～30	業績見通し
P.31	設備投資・減価償却費・開発費
P.32～42	地域別 受注高・売上高 詳細

◆ 2025年3月期業績実績と2026年3月期予想

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
2024年3月期	1,043	49	68	46
2025年3月期	1,111	71	76	72
2026年3月期予想	1,245	91	89	64

◆ 配当実績と今期予想額

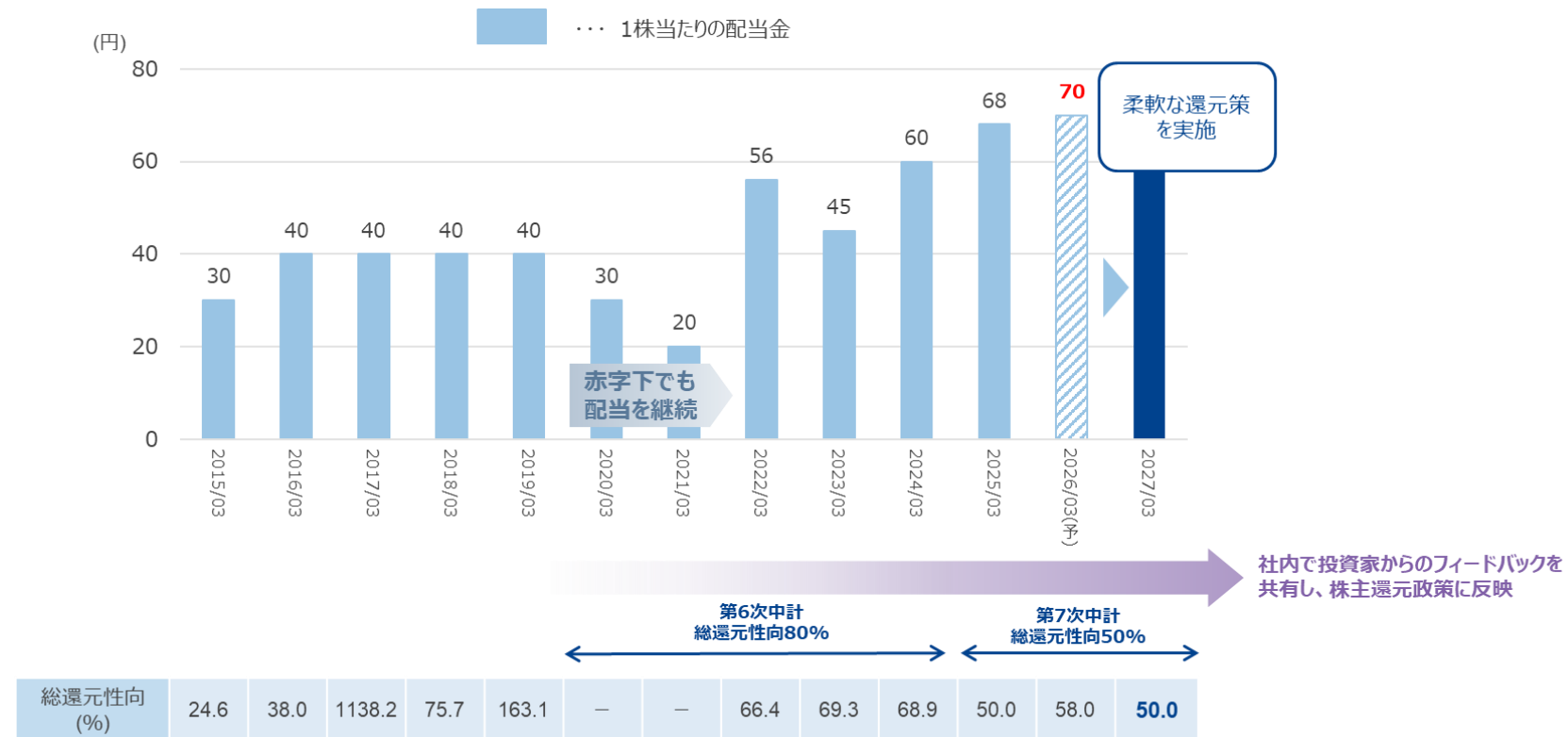
(単位：円)

	中間期	期末	計
2024年3月期	15	45	60
2025年3月期	20	48	68
2026年3月期予想 2025年5月14日公表	35	35	70

株主還元の取り組み

■ 第7次中計の還元政策

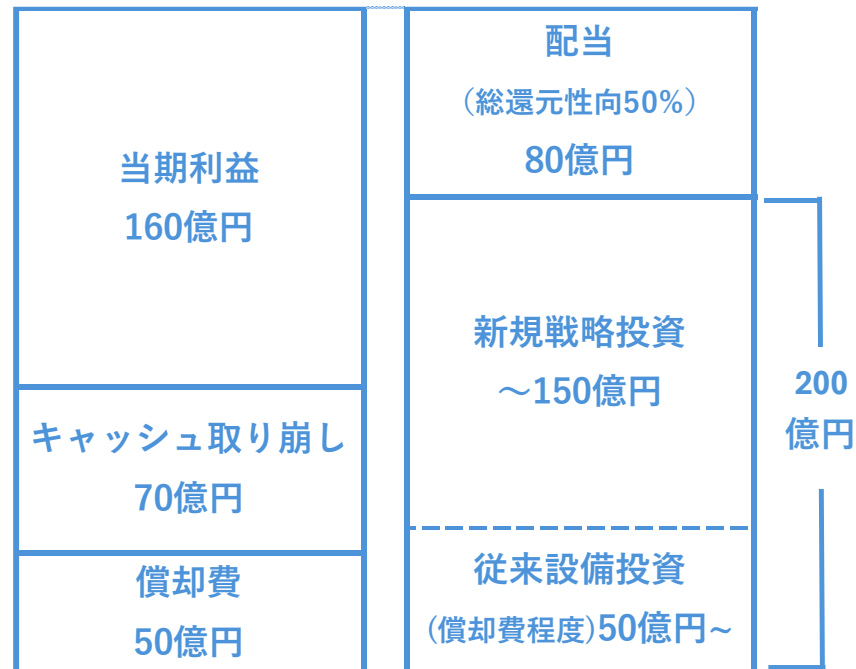
・ 最低配当額40円を導入すると同時に総還元性向を50%とし、戦略投資に資金を振り向けバランスの良い財務政策を採る。2026年3月期は総還元性向50%の他、政投株等で中期経営計画当初想定より純資産が高位で推移している為、**株主還元を強化**。期初時点では、総還元性向50%を超える配当を実施予定。



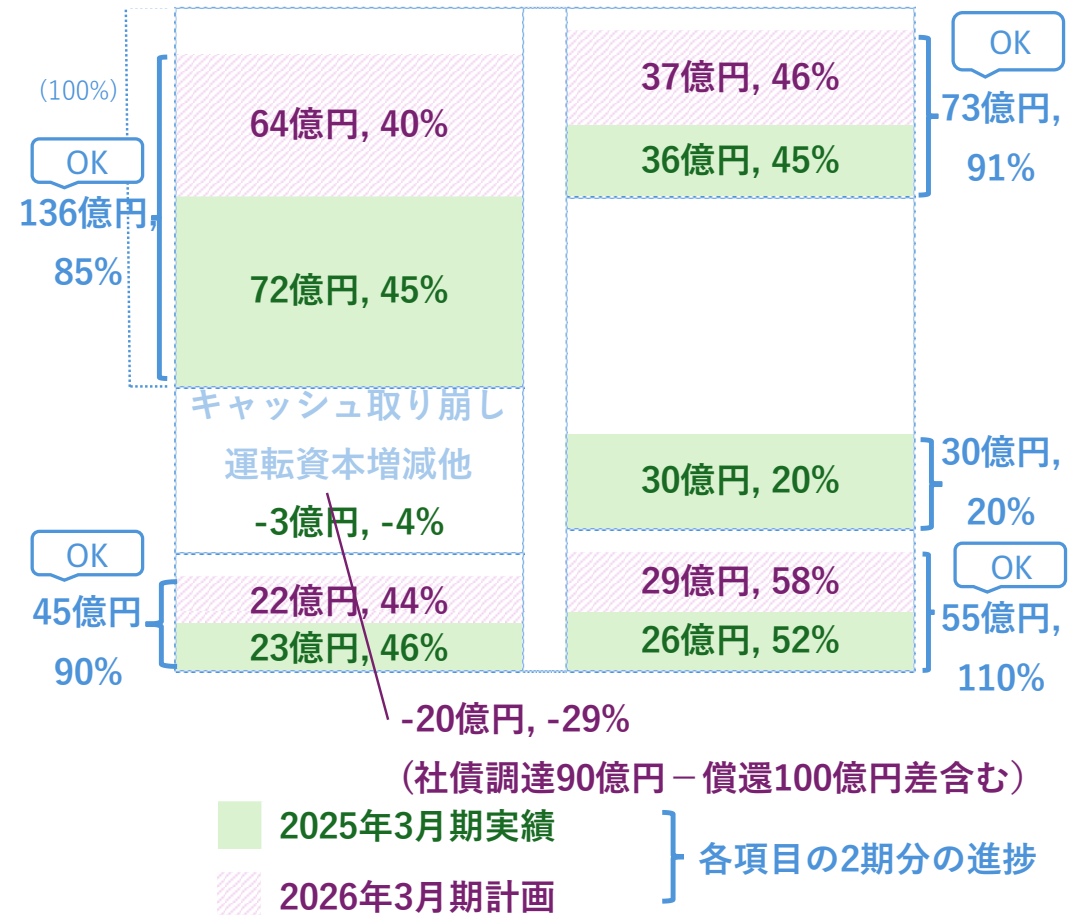
※過去年度税金調整額を除くと、2022/03(80.4%)、2023/03(81.7%)、2024/03(87.1%)

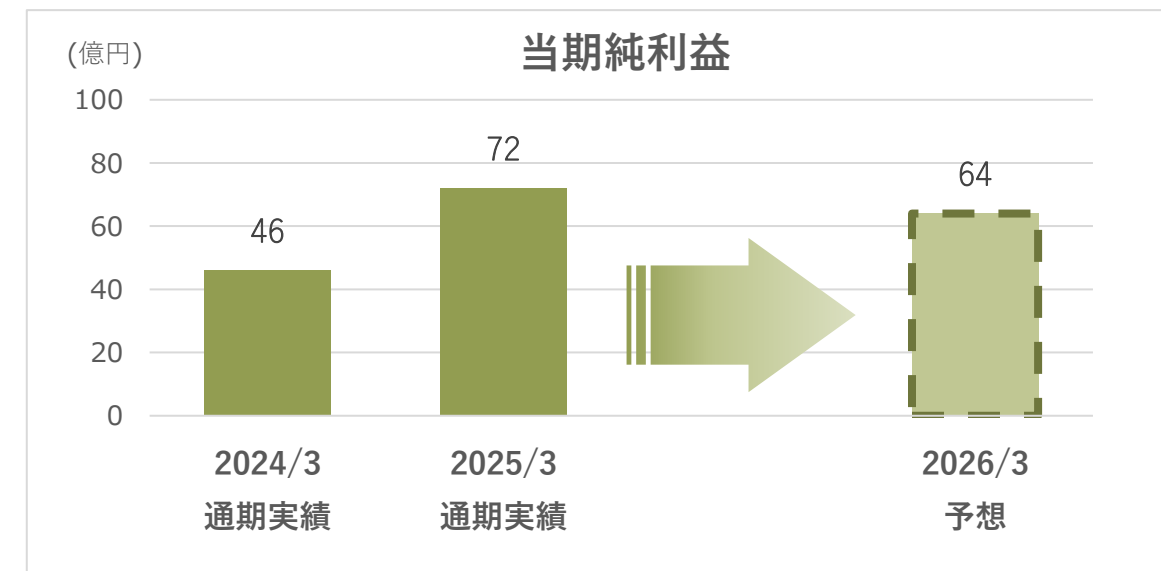
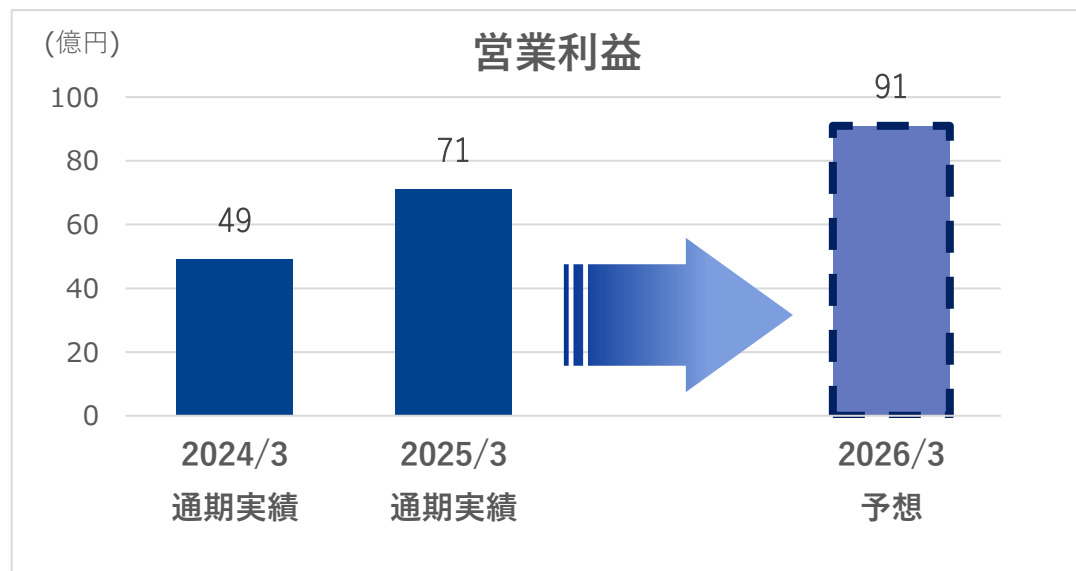
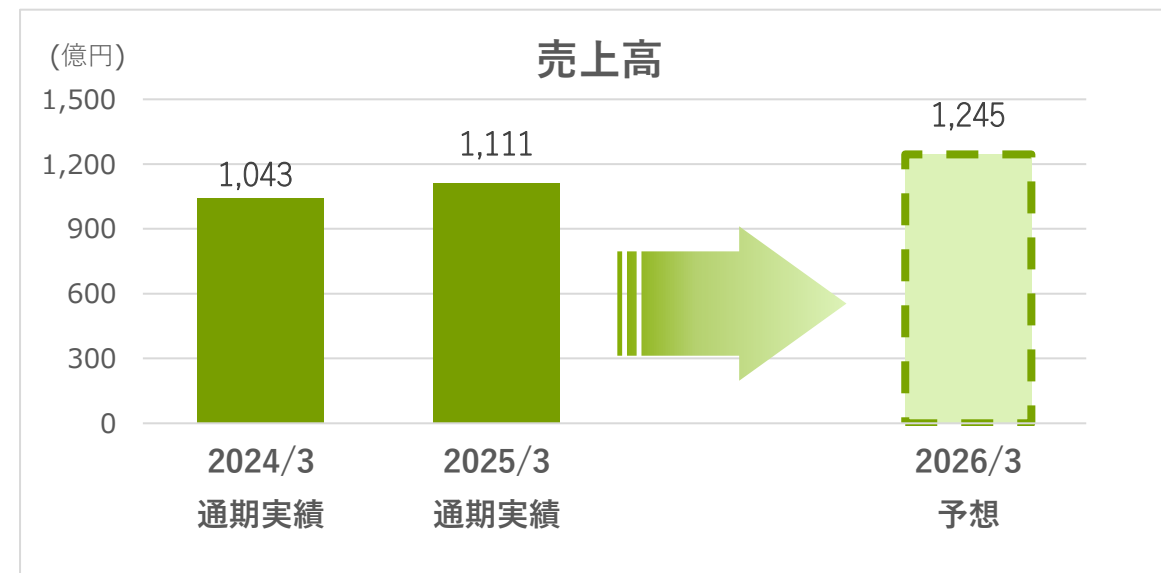
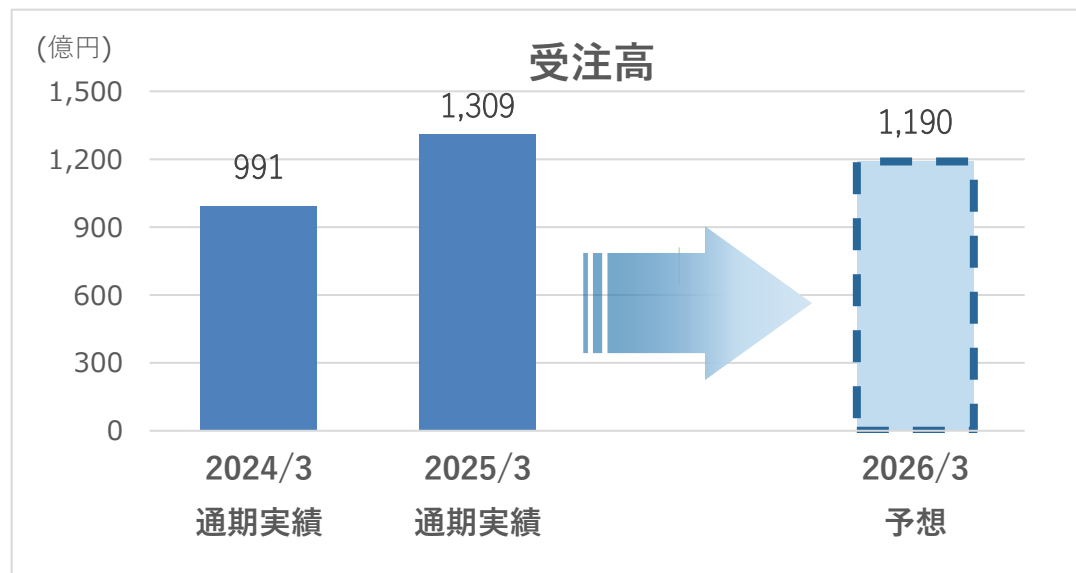
中期経営計画 – 資金収支計画の進捗

■ 第7次中期経営計画期間の資金収支計画（左）と2年度目（2026年3月期計画）までの進捗（右）

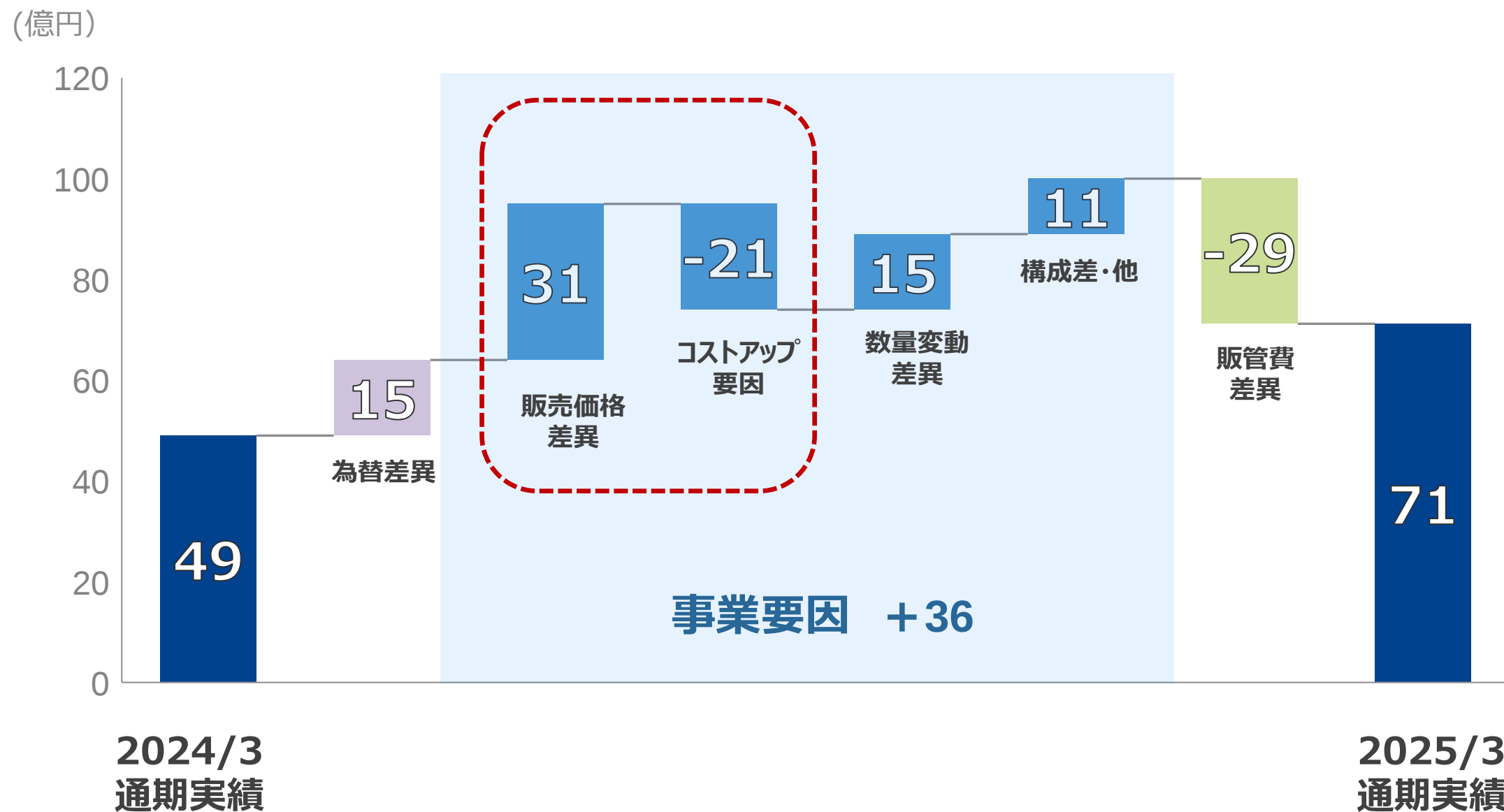


当期利益・償却費・配当・従来設備投資は概ね計画通り。事業ポートフォリオ変換を見据えた新規戦略投資を厳選しており、キャッシュ取り崩しが生じていない状況。

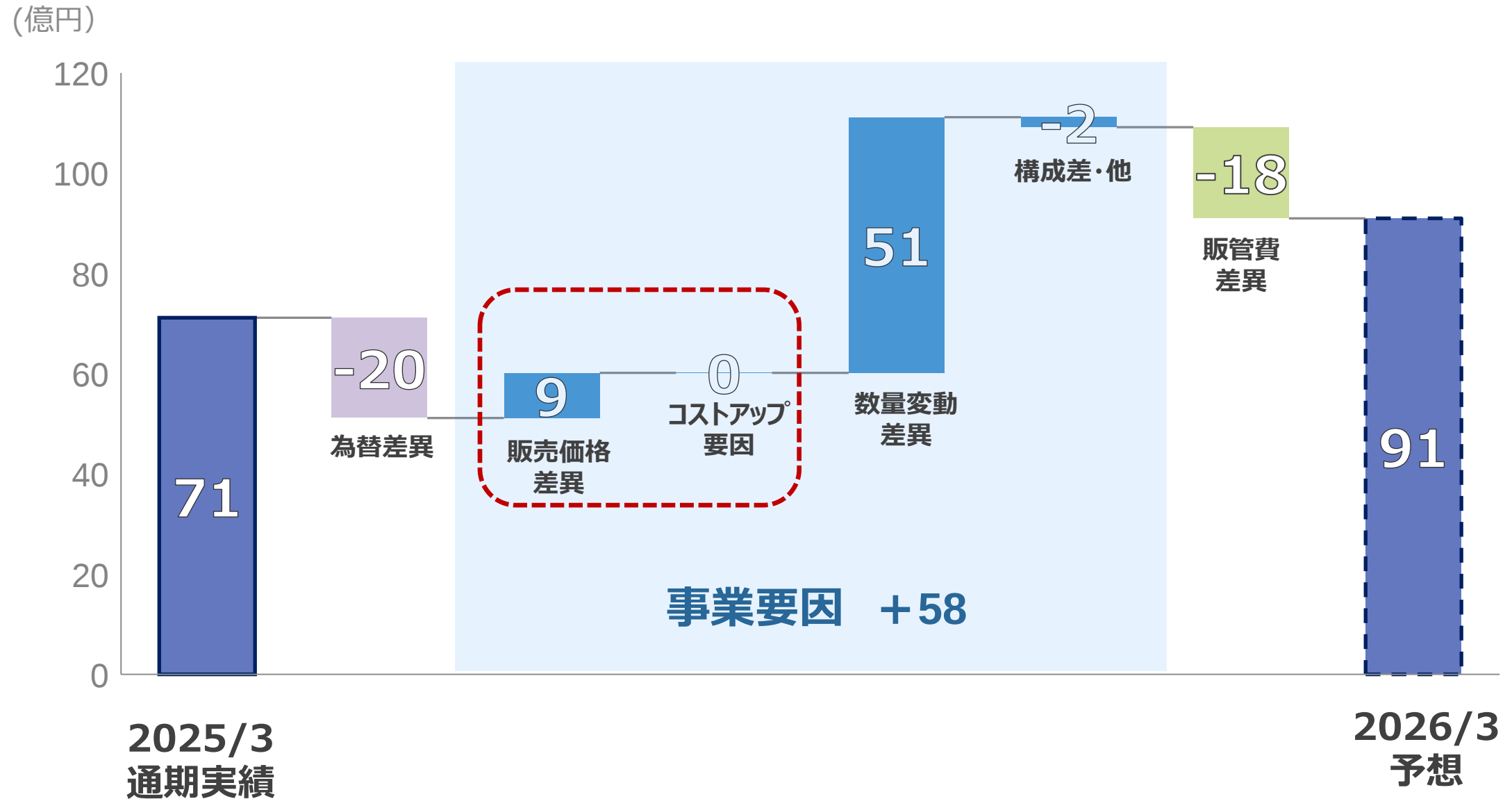




営業利益（2025/3月期の変動要因-対2024/3月期比）



営業利益（2026/3月期予想の変動要因-対2025/3月期比）



(億円)

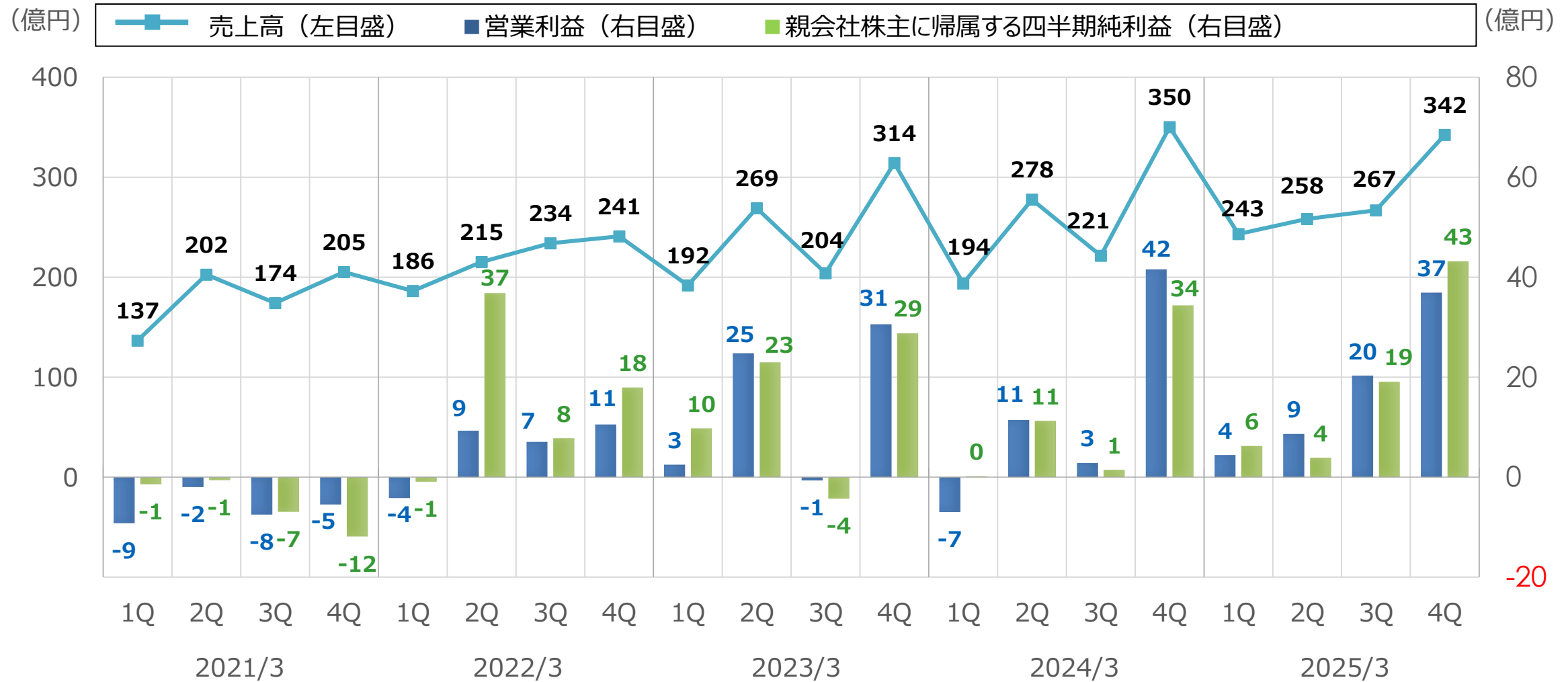
資産の部				負債の部			
	前期末 2024.3.31	当期末 2025.3.31	差額		前期末 2024.3.31	当期末 2025.3.31	差額
短期金融資産	506	595	+89	仕入債務	143	148	+6
売上債権	229	184	△46	短期借入金	6	2	△4
棚卸資産	419	425	+5	社債	100	100	±0
うち製品	186	212	+26	長期借入金	2	1	△1
有形固定資産	187	208	+21	その他負債	280	323	+42
無形固定資産	13	25	+12	負債合計	531	574	+43
その他資産	321	293	△28	純資産の部			
				純資産	1,145	1,155	+10
資産合計	1,676	1,729	+53	負債・純資産合計	1,676	1,729	+53

(億円)

	2024/3 通期実績	2025/3 通期実績	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△81	170	+251
投資活動によるキャッシュ・フロー	5	△48	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49	△43	+6
現金及び現金同等物の期末残高	497	574	+77

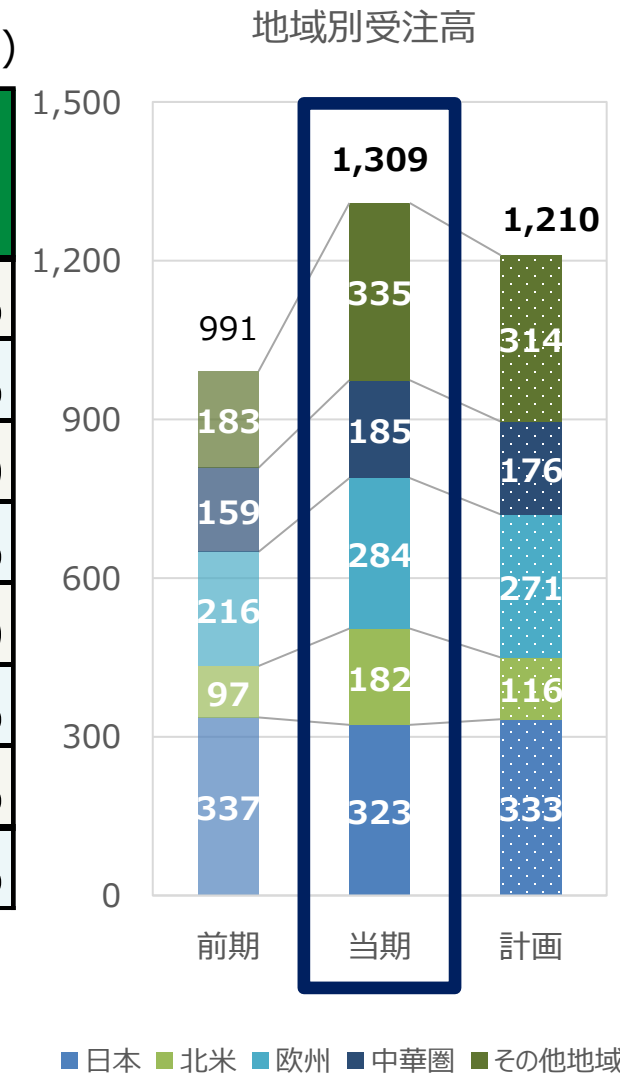
(単位：億円)

		当期実績 2025/3	前期実績 2024/3	差額	前期比	通期計画 2025/3	差額	計画比
受 注 高		1,309	991	318	132%	1,210	99	108%
売 上 高		1,111	1,043	68	106%	1,133	△ 22	98%
営 業 利 益		71	49	22	145%	67	4	106%
経 常 利 益		76	68	8	112%	68	8	112%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益		72	46	26	156%	61	11	119%
平均レート (円)	US\$	152.48	144.40			146.62		
	EUR	163.62	156.80			158.33		
期末レート (円)	US\$	149.52	151.41			140.00		
	EUR	162.08	163.24			150.00		

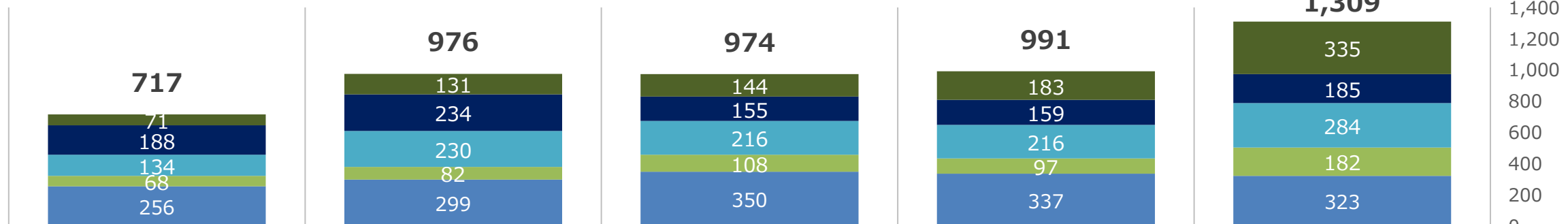
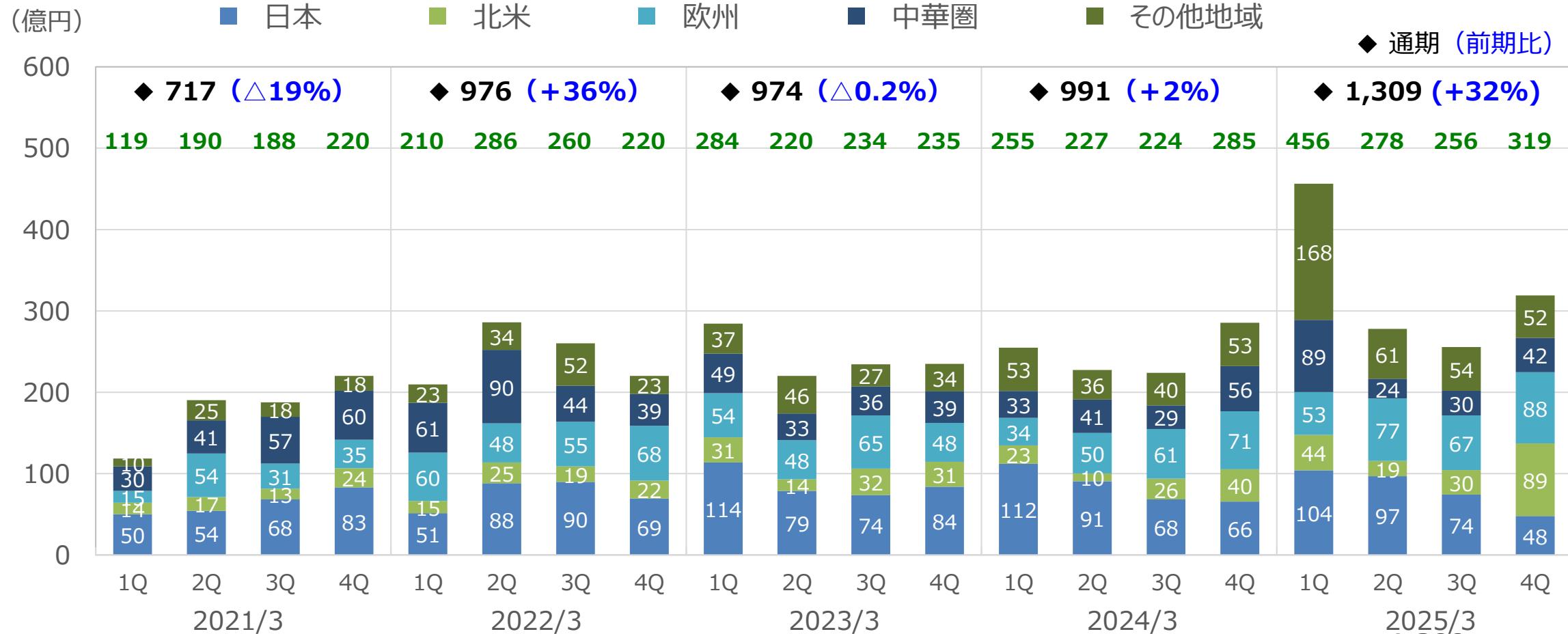


(単位：億円)

	当期実績 2025/3	前期実績 2024/3	前期比	通期計画 2025/3	計画比
日 本	323	337	96%	333	97%
北 米	182	97	187%	116	156%
(百万ドル)	(119)	(67)	(177%)	(80)	(150%)
欧 州	284	216	132%	271	105%
(百万1-0)	(174)	(138)	(126%)	(171)	(102%)
中 華 圏	185	159	116%	176	105%
そ の 他 地 域	335	183	183%	314	107%
合 計	1,309	991	132%	1,210	108%

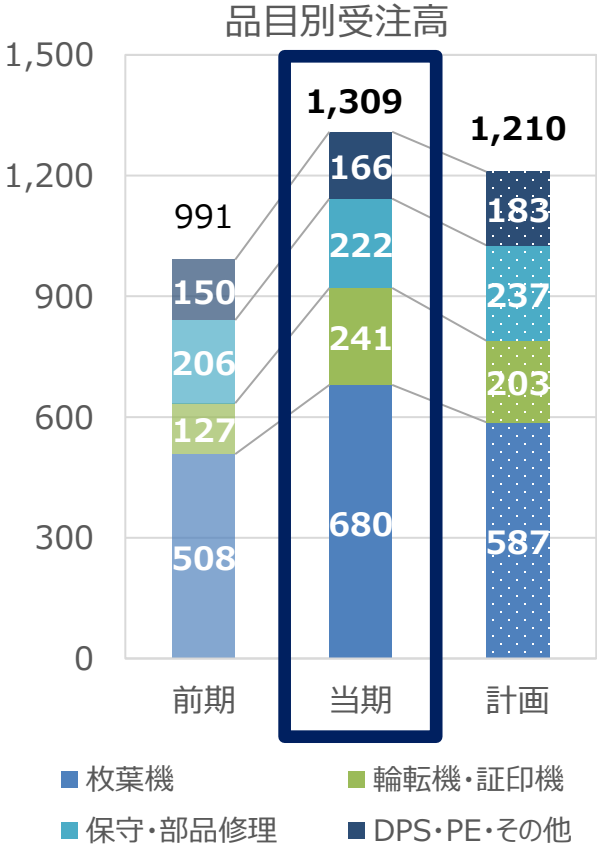


地域別受注高



(単位： 億円)

	当期実績 2025/3	前期実績 2024/3	前期比	通期計画 2025/3	計画比
枚葉機	680	508	134%	587	116%
輪転機・証券印刷機	241	127	190%	203	119%
保守・部品修理	222	206	107%	237	94%
DPS・PE・その他	166	150	111%	183	91%
合計	1,309	991	132%	1,210	108%



品目別受注高

(億円)

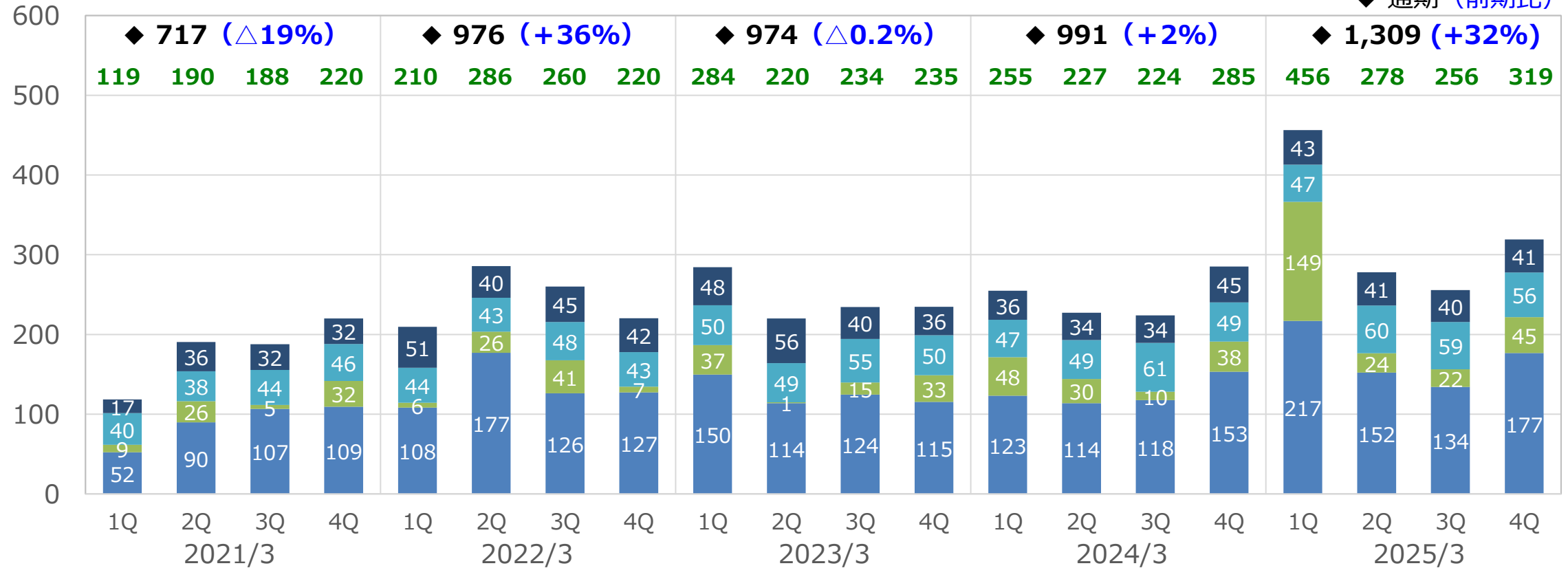
■ 枚葉機

■ 輪転機・証券印刷機

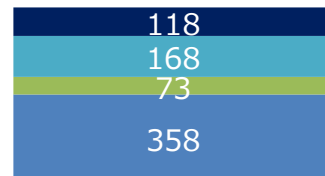
■ 保守・部品修理

■ D P S・P E・その他

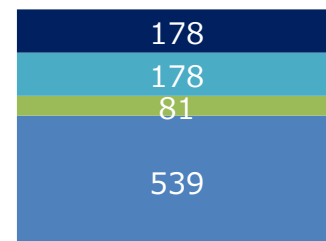
◆ 通期 (前期比)



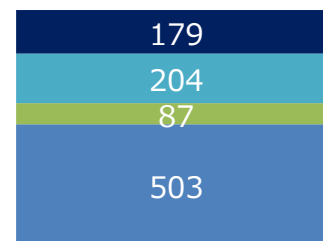
717



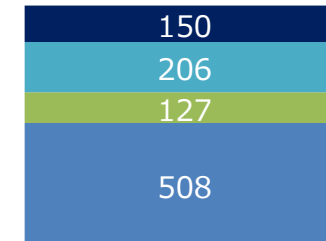
976



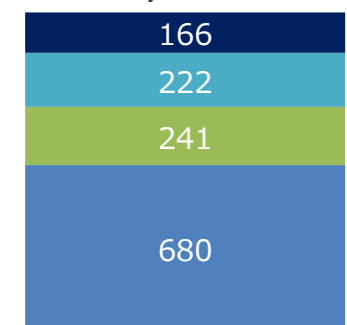
974



991



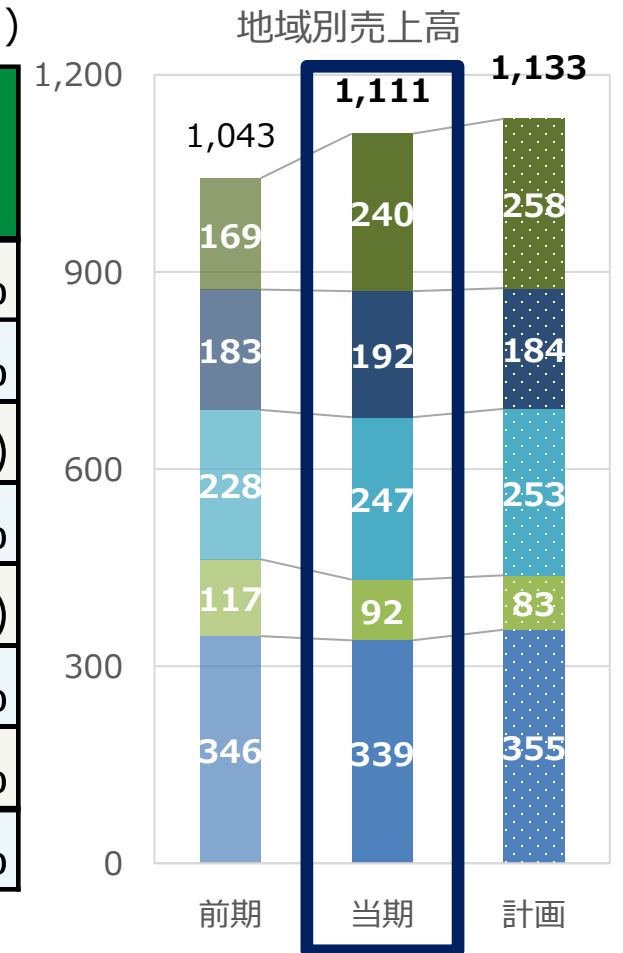
1,309



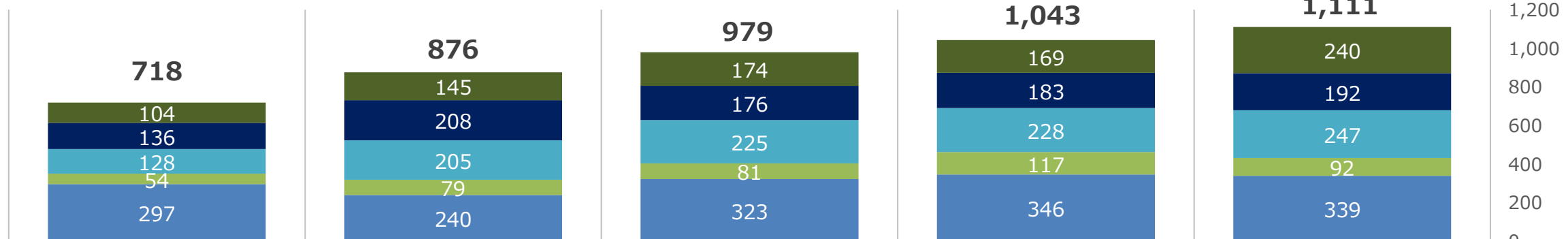
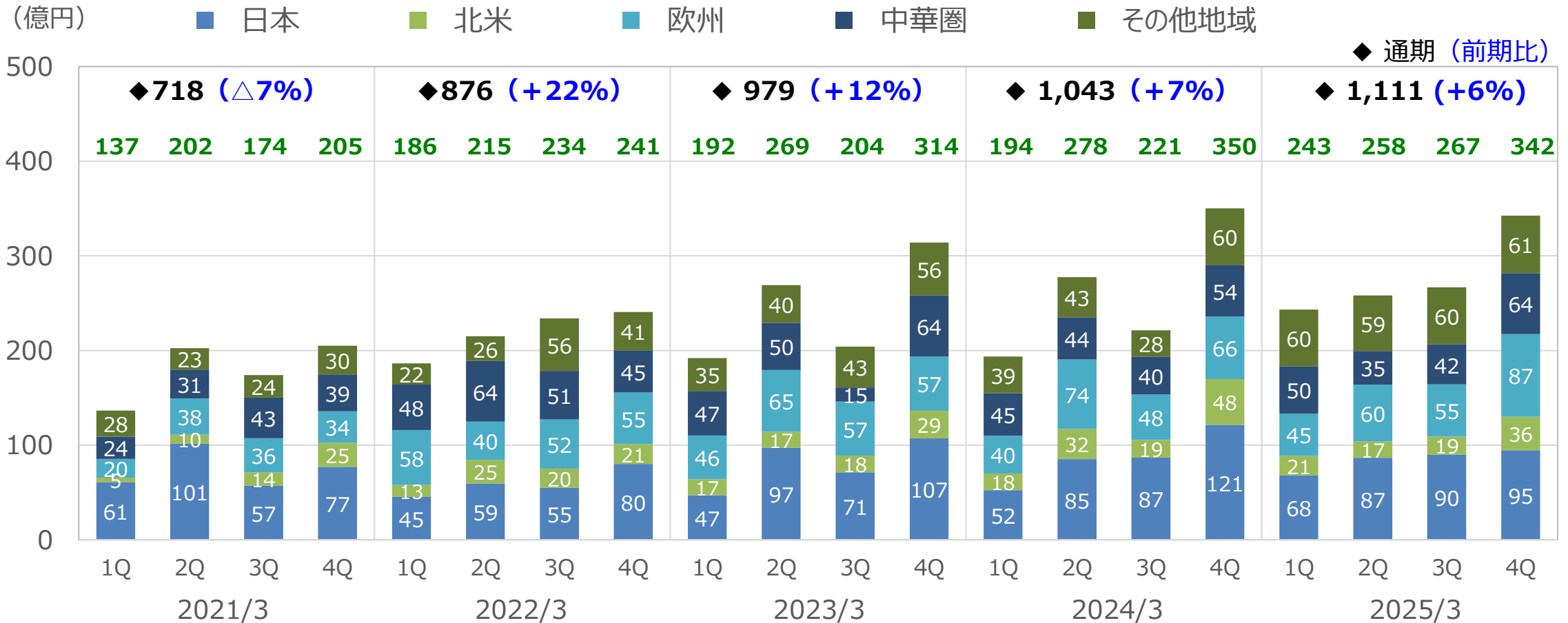
1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0

(単位：億円)

	当期実績 2025/3	前期実績 2024/3	前期比	通期計画 2025/3	計画比
日 本	339	346	98%	355	95%
北 米	92	117	79%	83	111%
	(百万ドル)	(81)	(75%)	(57)	(107%)
欧 州	247	228	109%	253	98%
	(百万1-0)	(145)	(104%)	(160)	(94%)
中 華 圏	192	183	105%	184	104%
そ の 他 地 域	240	169	142%	258	93%
合 計	1,111	1,043	106%	1,133	98%

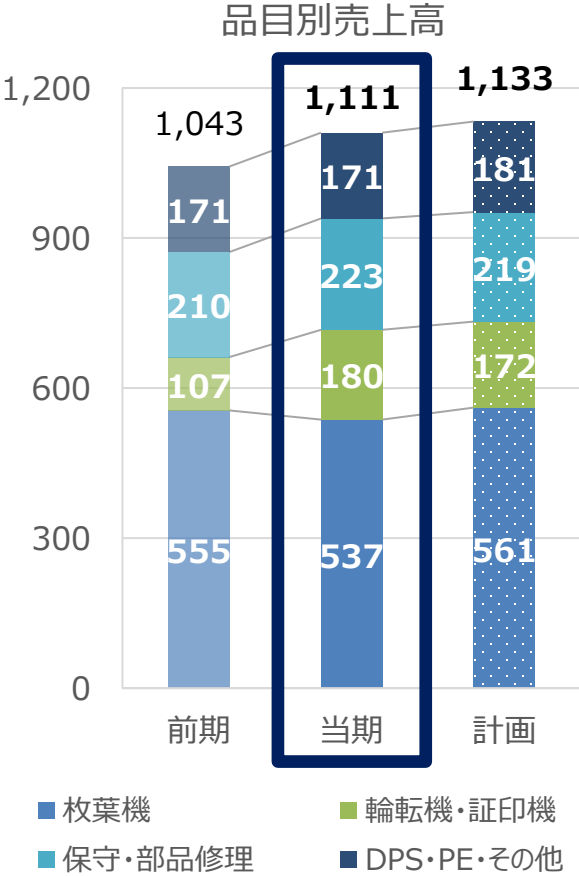


地域別売上高

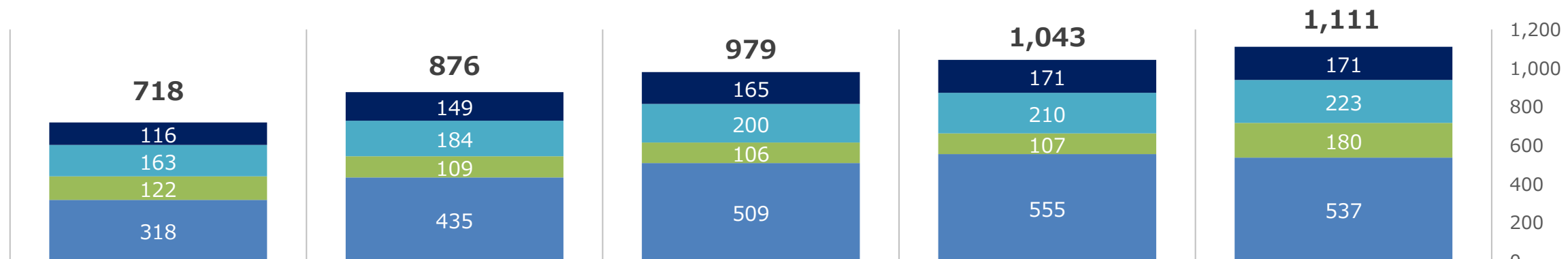
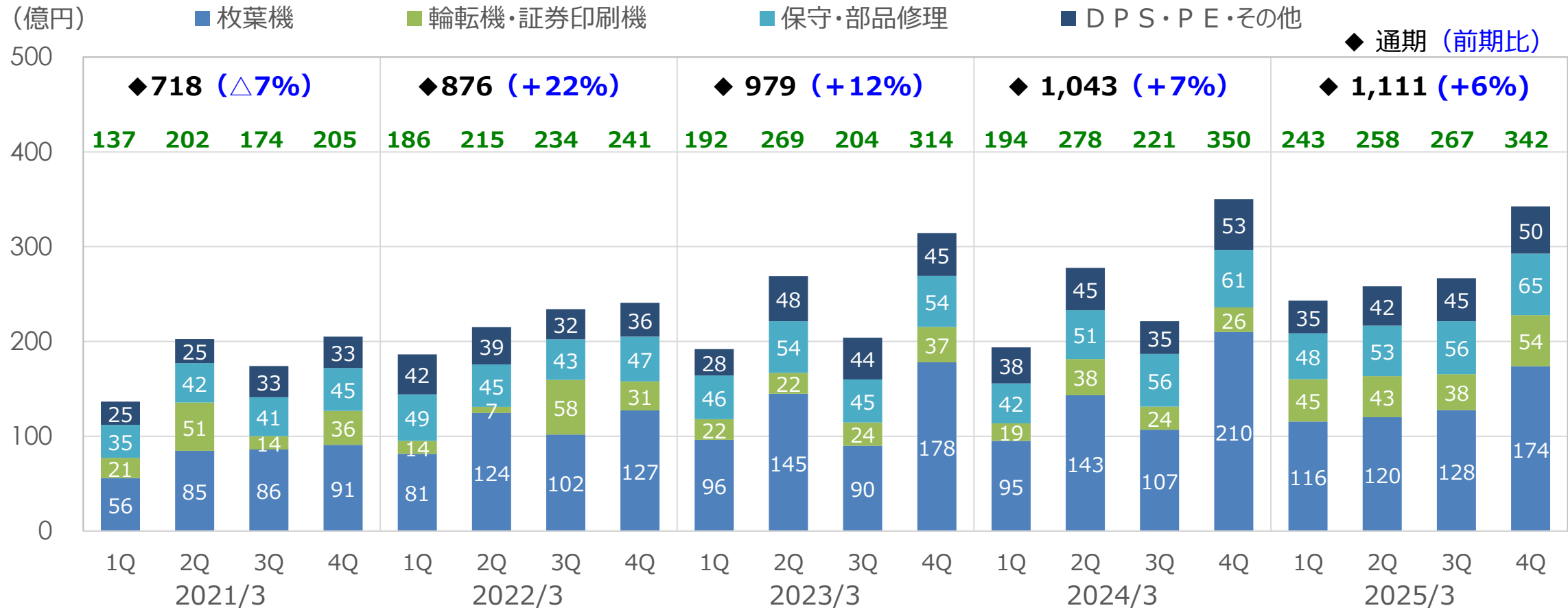


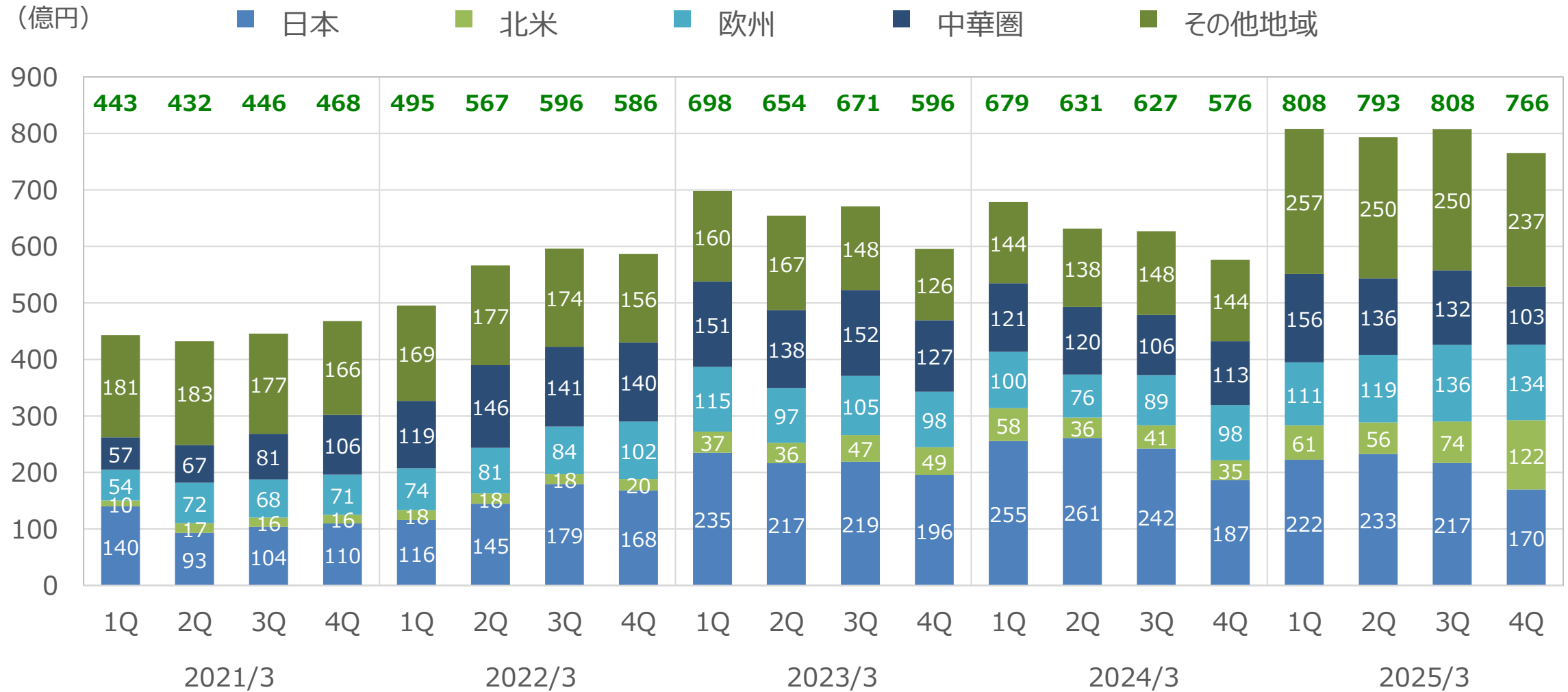
(単位：億円)

	当期実績 2025/3	前期実績 2024/3	前期比	通期計画 2025/3	計画比
枚葉機	537	555	97%	561	96%
輪転機・証券印刷機	180	107	167%	172	105%
保守・部品修理	223	210	106%	219	102%
DPS・PE・その他	171	171	100%	181	95%
合計	1,111	1,043	106%	1,133	98%

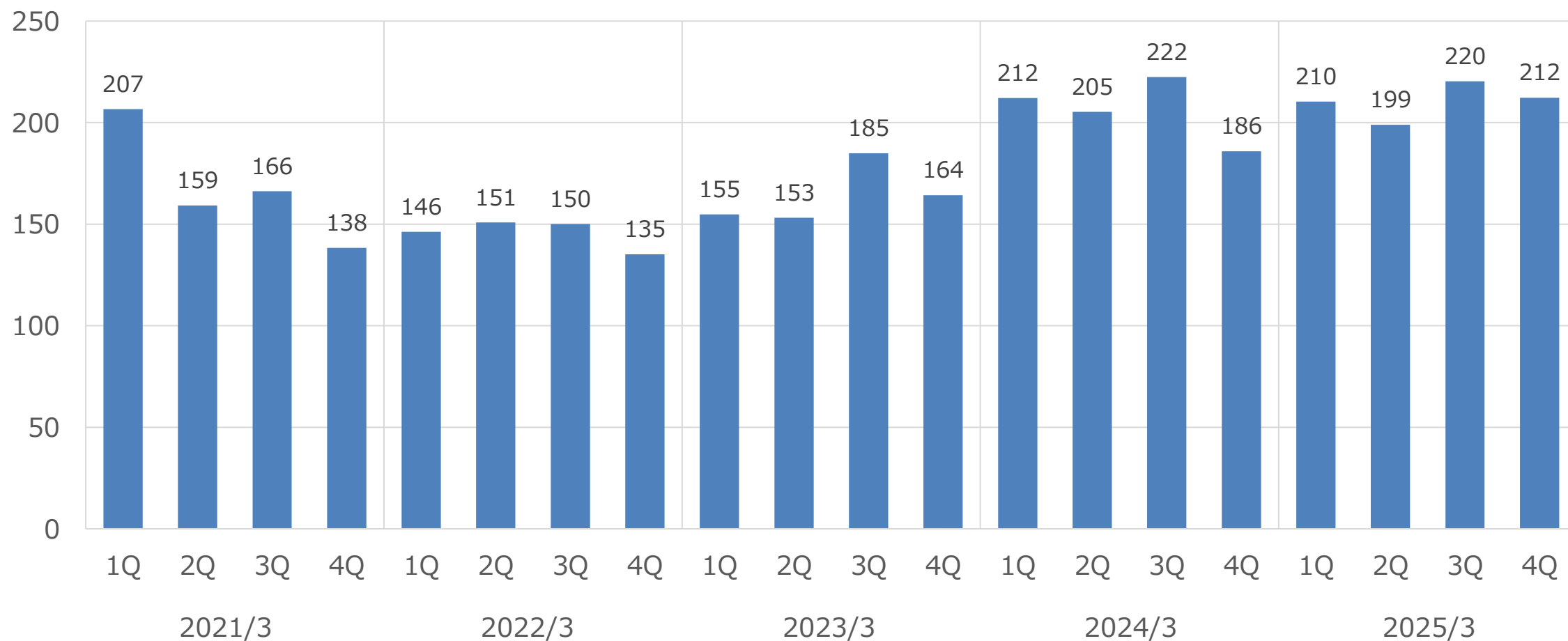


品目別売上高





（億円）



通期業績見通し

(単位：億円)

		2026/3			2025/3 前期実績	差額	前期比
		上期計画	下期計画	通期計画			
受注高		612	578	1,190	1,309	△119	91%
売上高		586	659	1,245	1,111	134	112%
営業利益		38	53	91	71	20	128%
経常利益		37	52	89	76	13	117%
親会社株主に帰属する 当期純利益		26	38	64	72	△8	88%
平均レート (円)	US\$	140.00	140.00	140.00	152.48		
	EUR	150.00	150.00	150.00	163.62		
期末レート (円)	US\$	140.00	140.00	140.00	149.52		
	EUR	150.00	150.00	150.00	162.08		

(単位：億円)

	2026/3			2025/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
日 本	192	165	357	323	35	111%
北 米	43	84	127	182	△55	70%
(百万ドル)	(31)	(60)	(91)	(119)	(△29)	(76%)
欧 州	155	144	300	284	15	105%
(百万ユーロ)	(104)	(96)	(200)	(174)	(26)	(115%)
中 華 圏	82	72	154	185	△31	83%
そ の 他 地 域	140	112	252	335	△83	75%
合 計	612	578	1,190	1,309	△119	91%

(単位：億円)

	2026/3			2025/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
枚 葉 機	285	322	607	680	△73	89%
輪転機・証券印刷機	112	29	141	241	△100	59%
保 守 ・ 部 品 修 理	110	109	219	222	△3	99%
D P S ・ P E ・ その他	104	118	222	166	56	134%
合 計	612	578	1,190	1,309	△119	91%

(単位：億円)

	2026/3			2025/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
日 本	155	188	344	339	4	101%
北 米	60	91	151	92	59	163%
(百万ドル)	(43)	(65)	(108)	(61)	(47)	(178%)
欧 州	138	165	303	247	55	122%
(百万ユーロ)	(92)	(110)	(202)	(151)	(51)	(134%)
中 華 圏	87	62	148	192	△43	77%
そ の 他 地 域	146	153	299	240	59	125%
合 計	586	659	1,245	1,111	134	112%

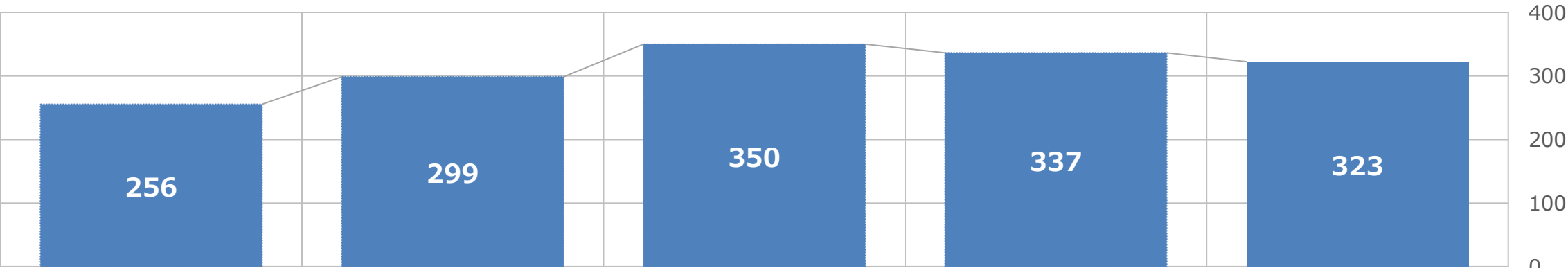
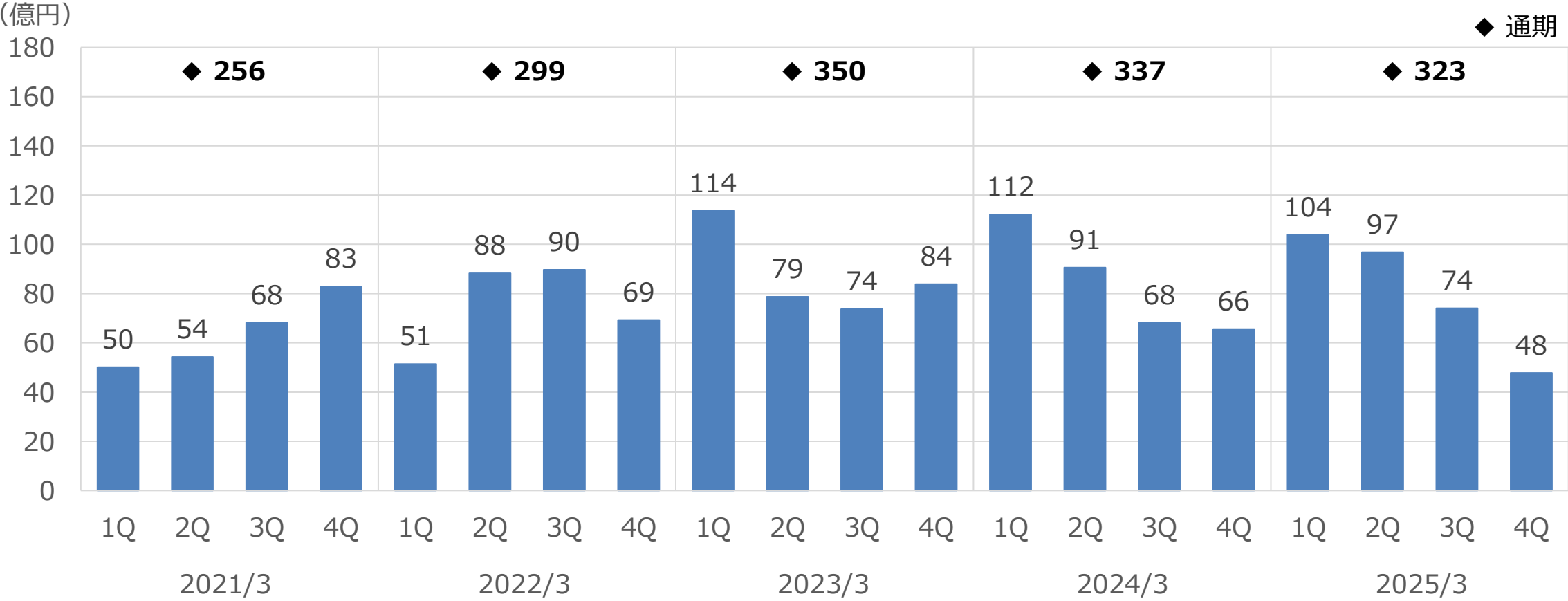
(単位：億円)

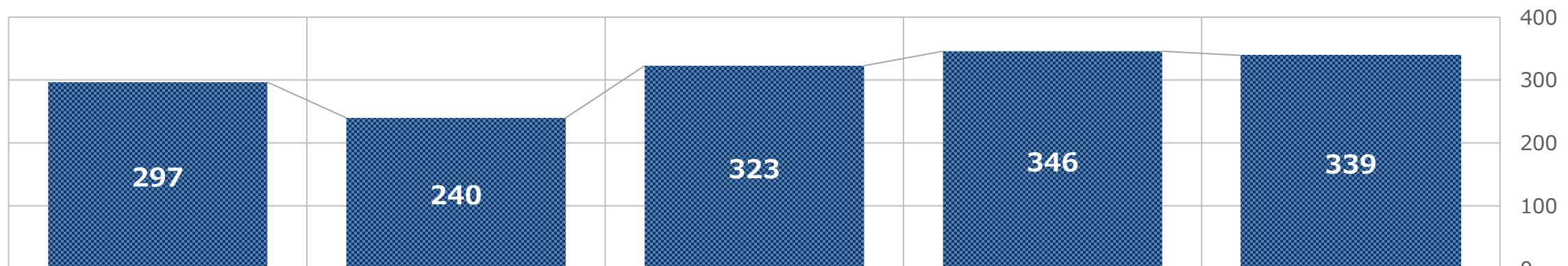
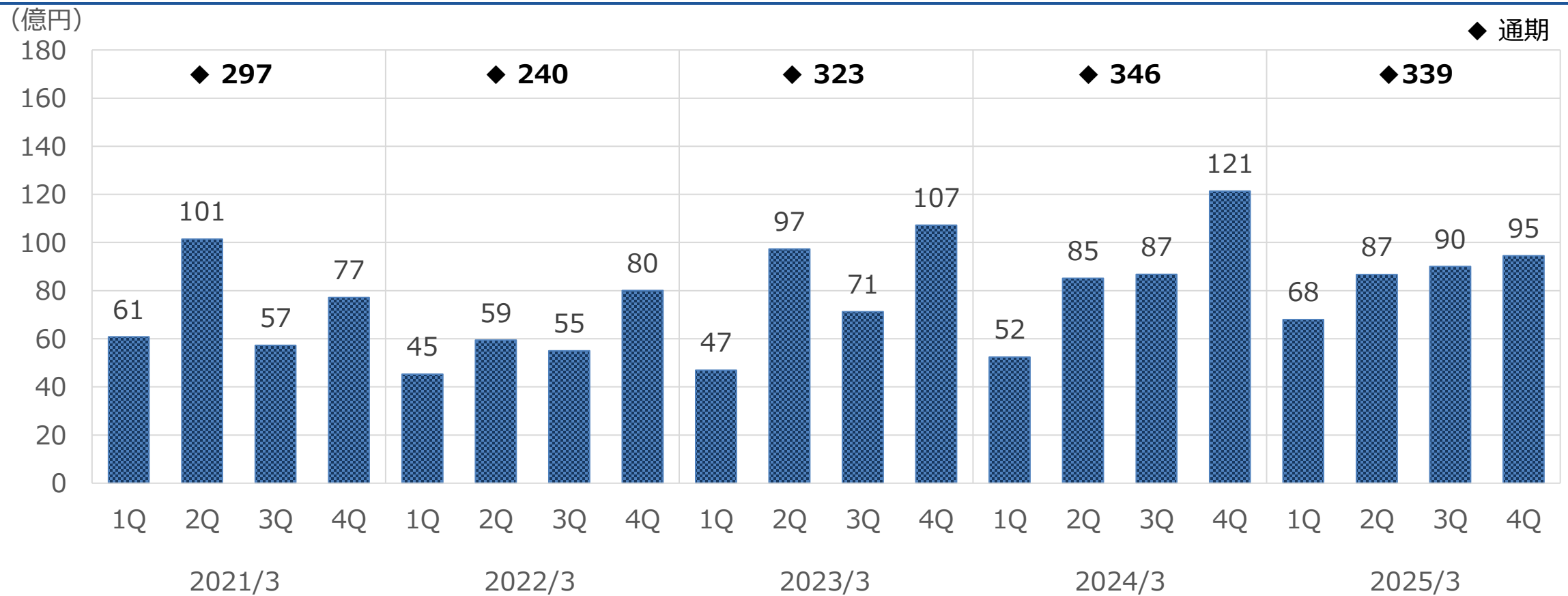
	2026/3			2025/3 前期実績	差額	前期比
	上期計画	下期計画	通期計画			
枚 葉 機	313	301	614	537	77	114%
輪転機・証券印刷機	77	133	210	180	31	117%
保 守 ・ 部 品 修 理	106	109	215	223	△8	97%
D P S ・ P E ・ その他	90	116	206	171	35	120%
合 計	586	659	1,245	1,111	134	112%

(単位：百万円)

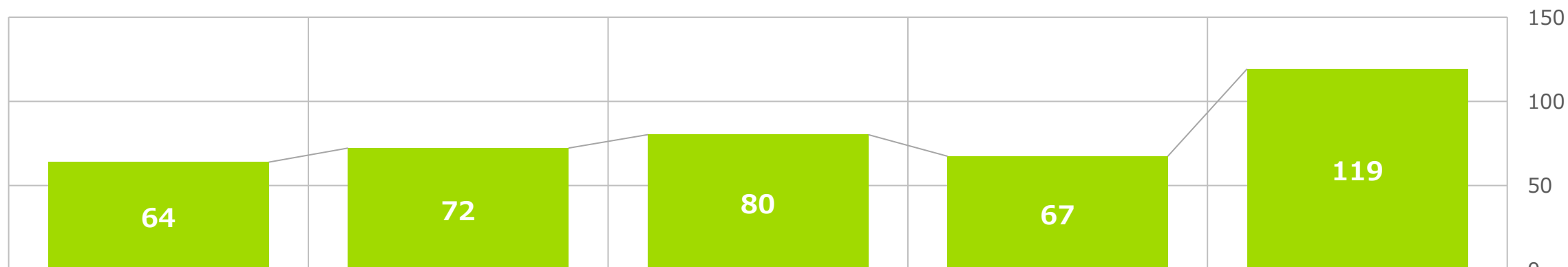
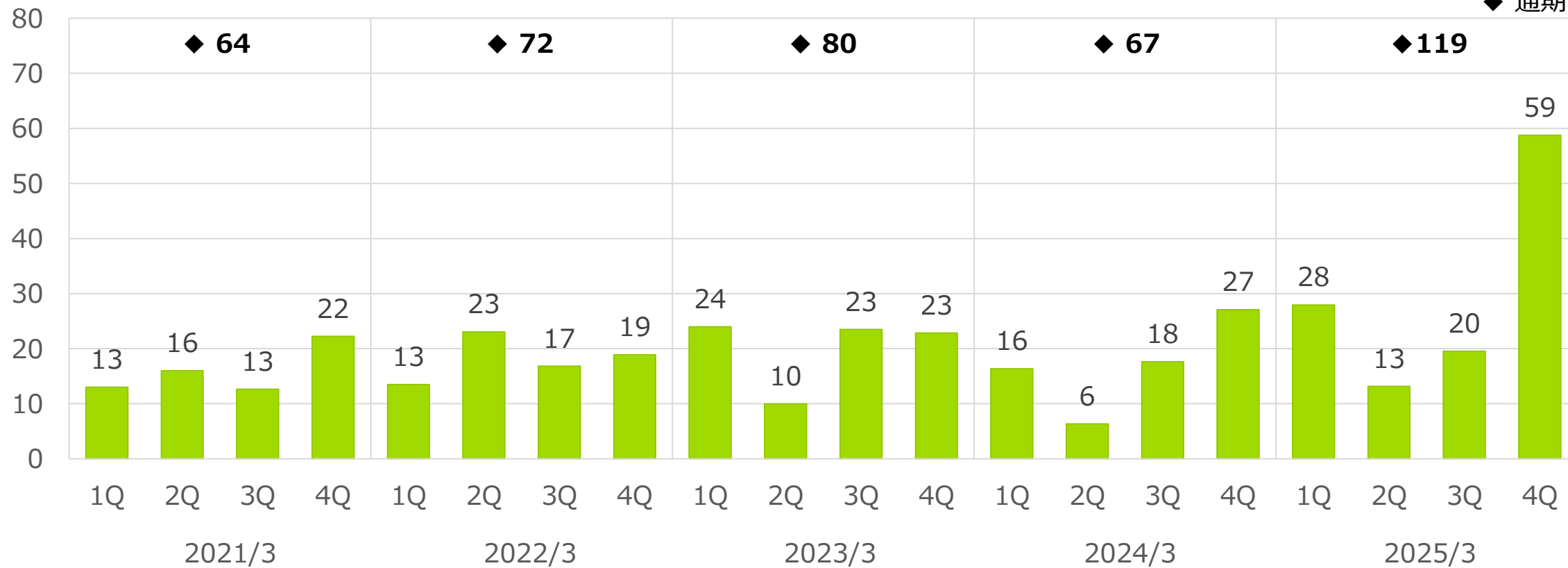
	2021/3	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3	2026/3 予想
従業員数（名）	2,686	2,613	2,567	2,562	2,625	2,640
人件費	20,199	22,122	23,246	24,656	26,246	26,000
設備投資額	1,394	2,371	2,303	1,997	2,601	2,900
減価償却費	1,604	1,877	1,896	1,968	2,298	2,200
研究開発費	4,002	4,050	3,654	3,734	4,044	4,400
(売上高比)	(5.6%)	(4.6%)	(3.7%)	(3.6%)	(3.6%)	(3.5%)

参考資料
(受注高・売上高 詳細)



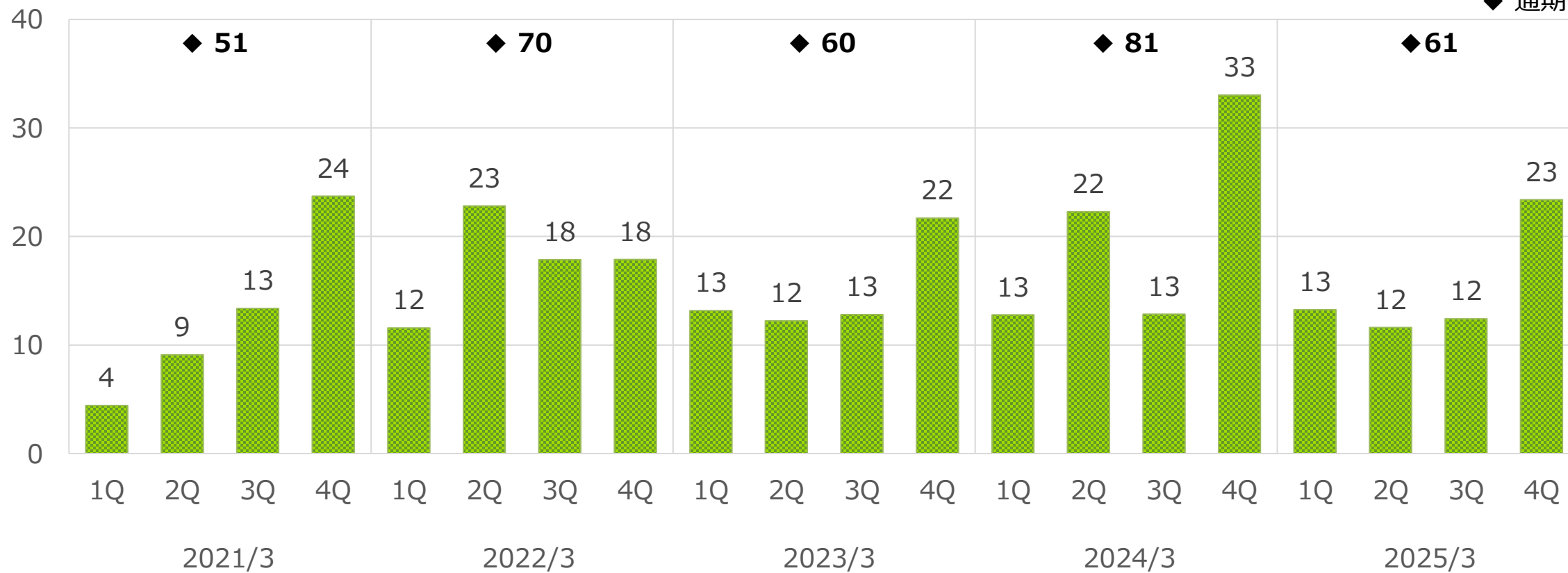


(million \$)



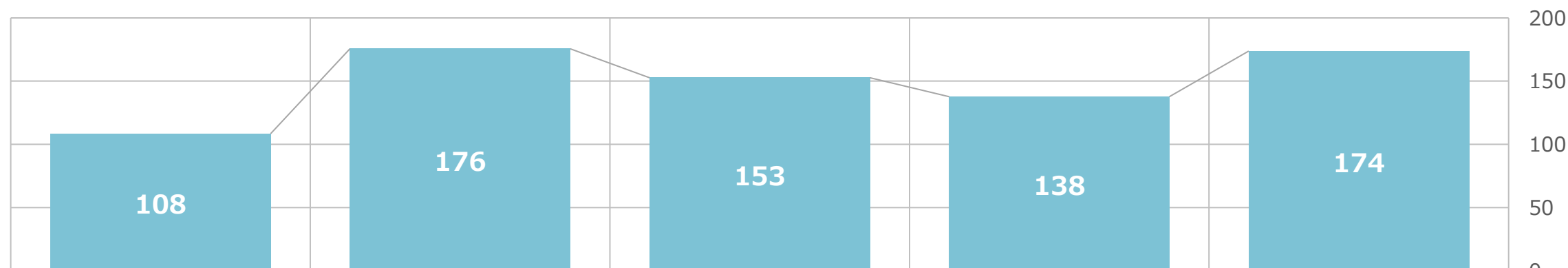
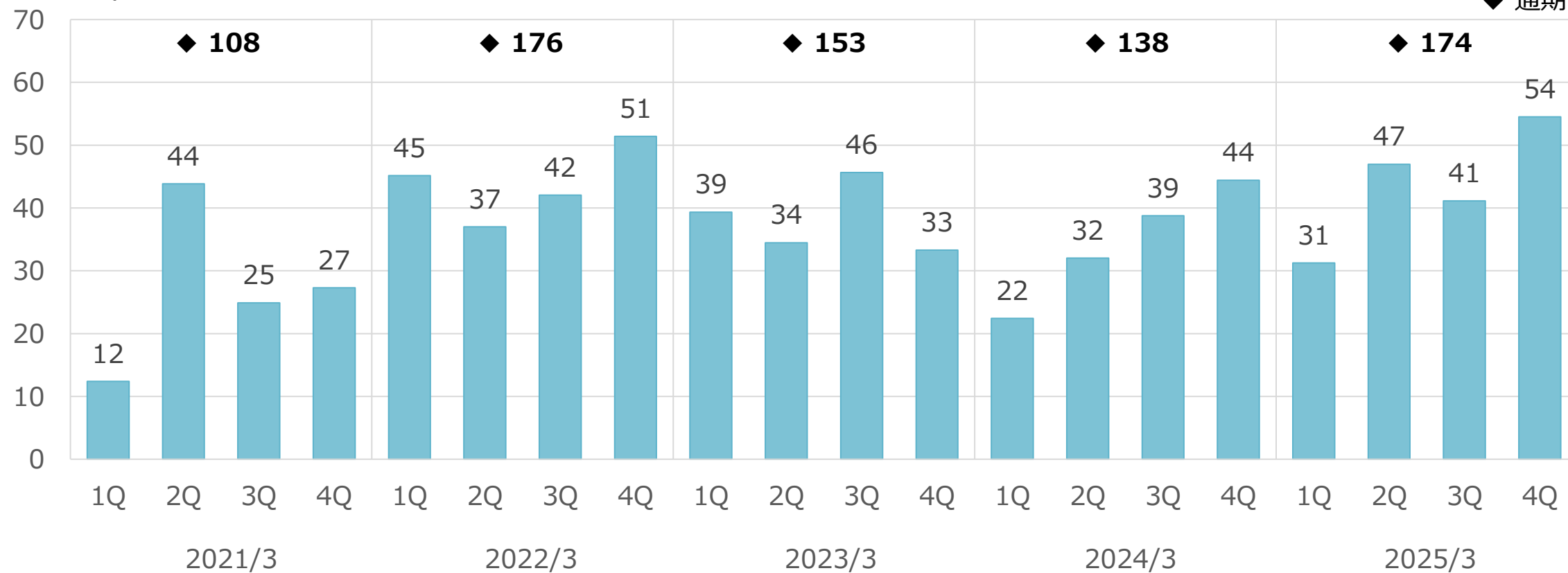
北米 売上高

(million \$)



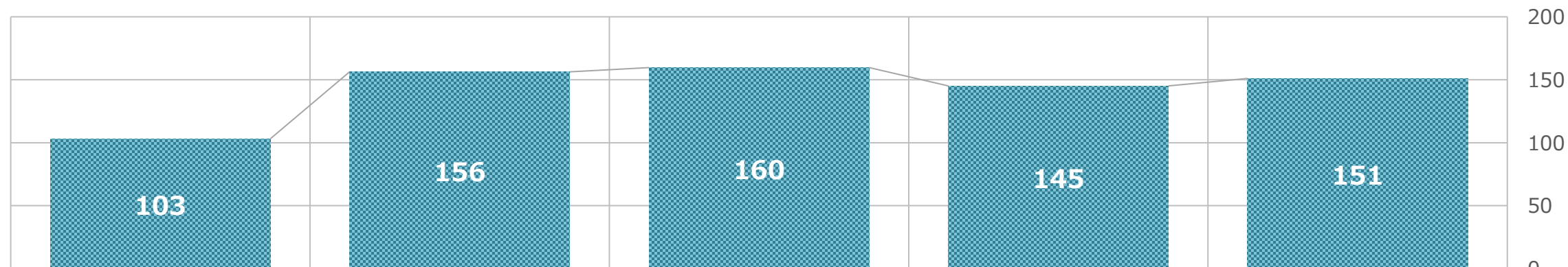
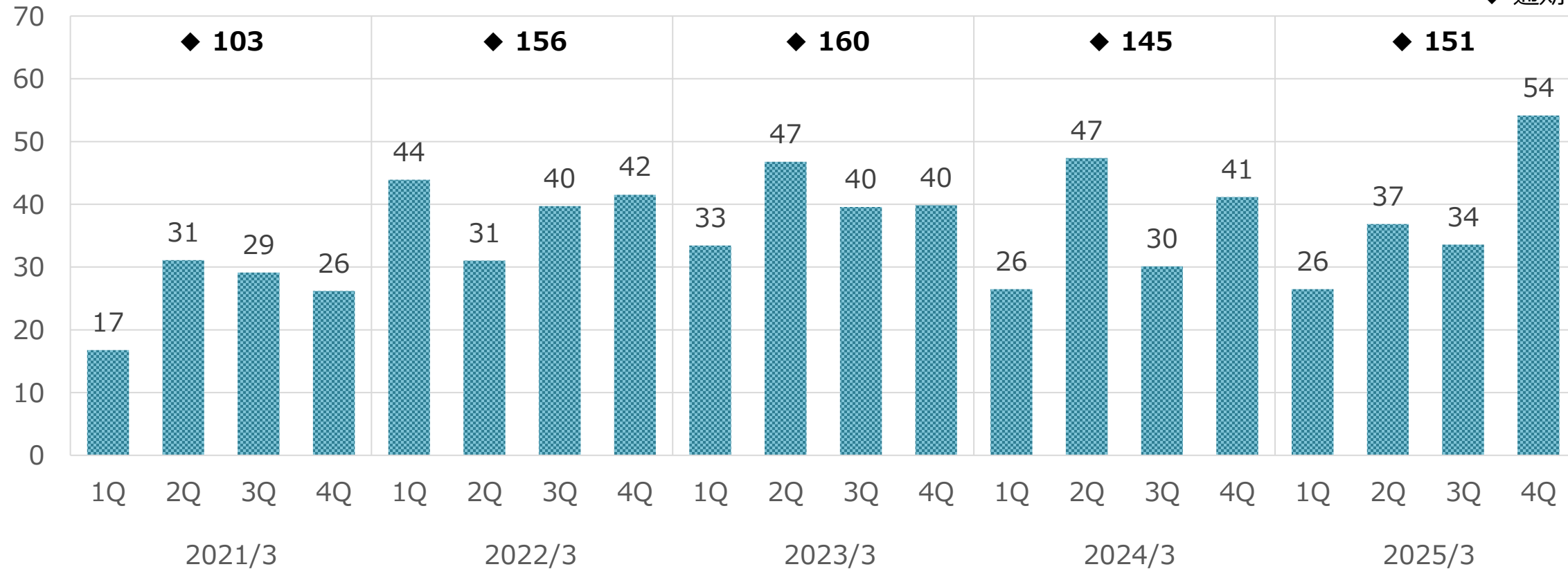
(million EUR)

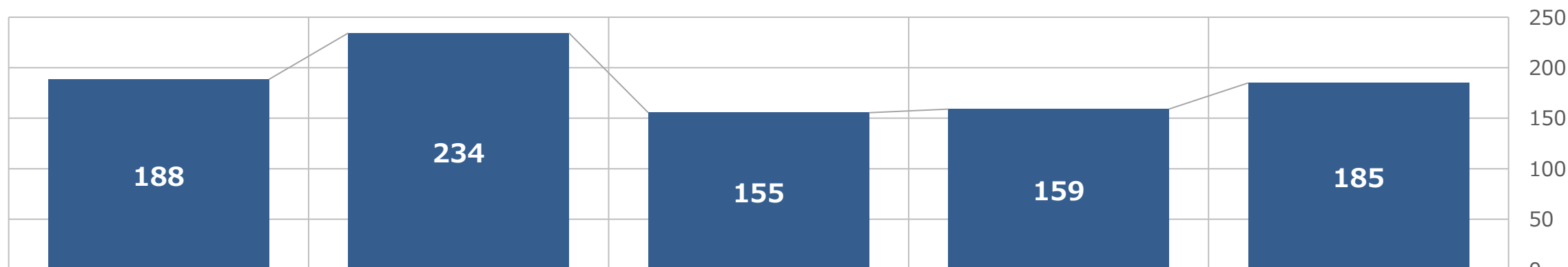
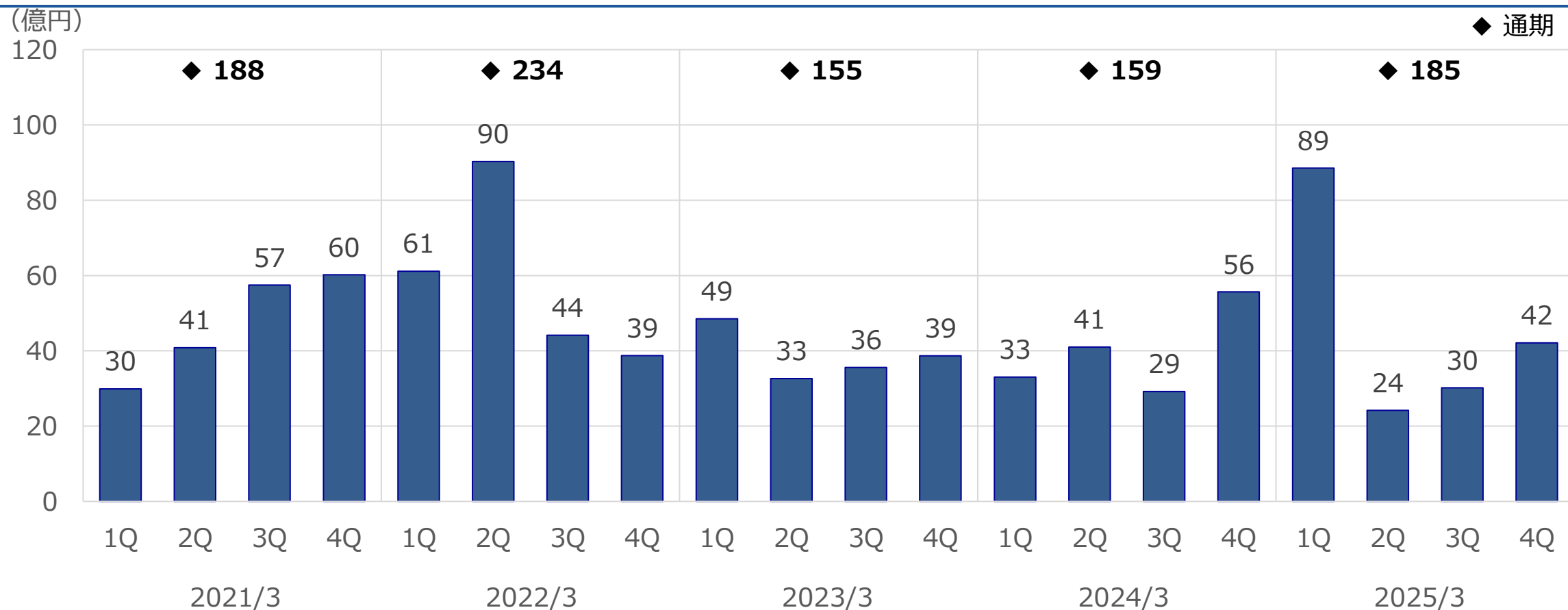
◆ 通期



(million EUR)

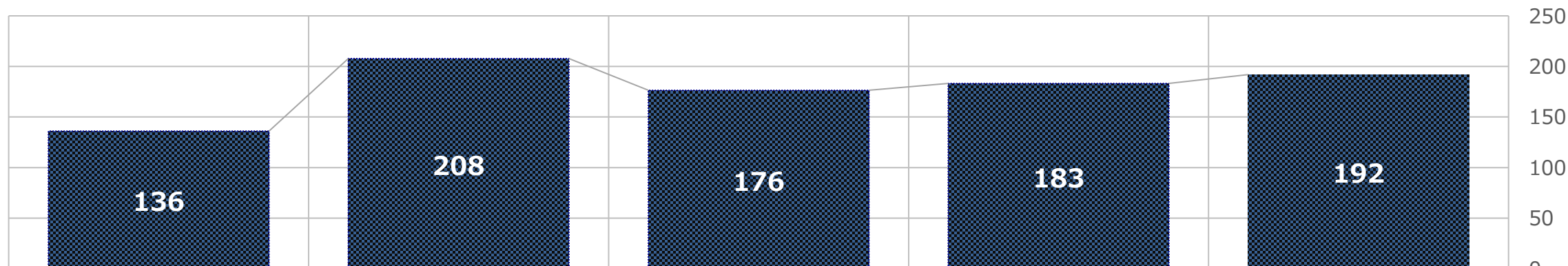
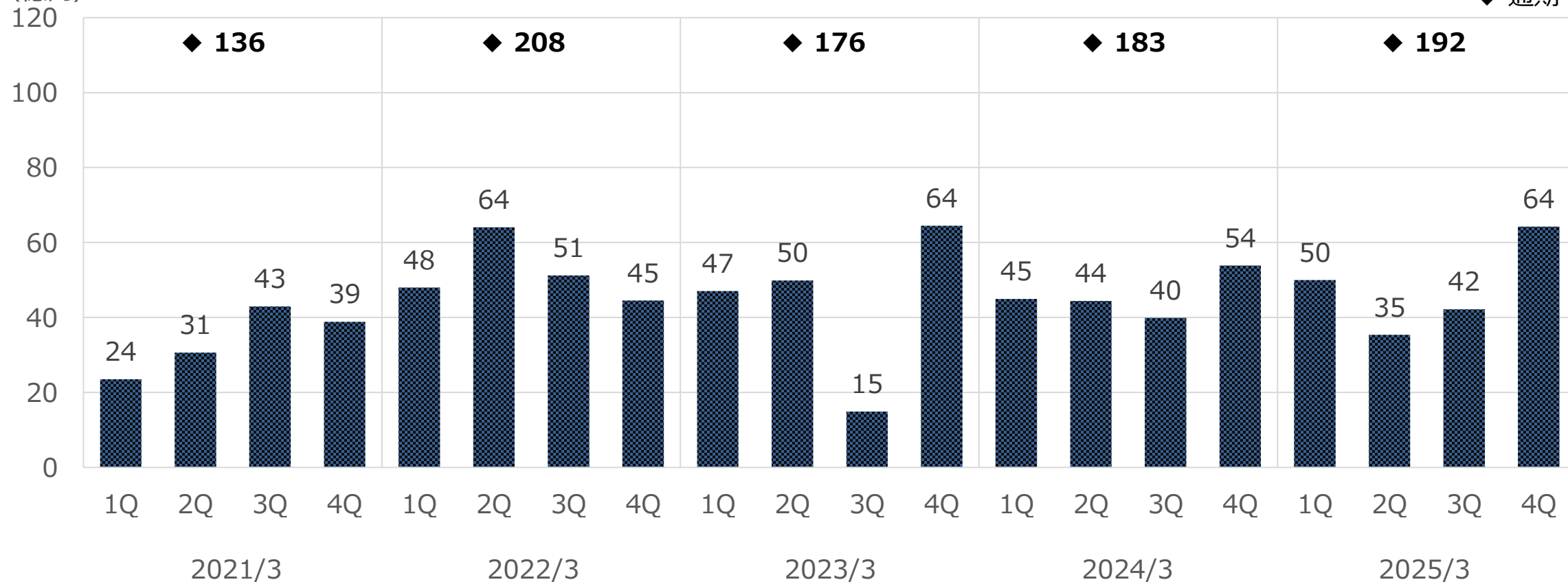
◆ 通期





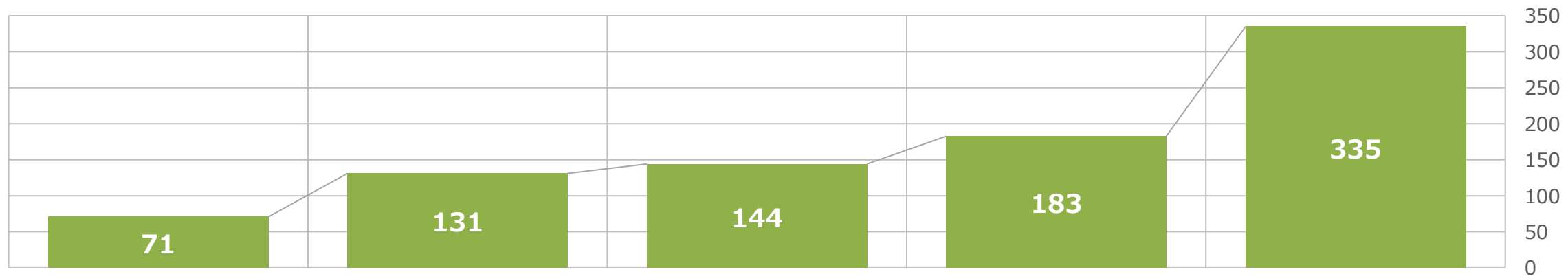
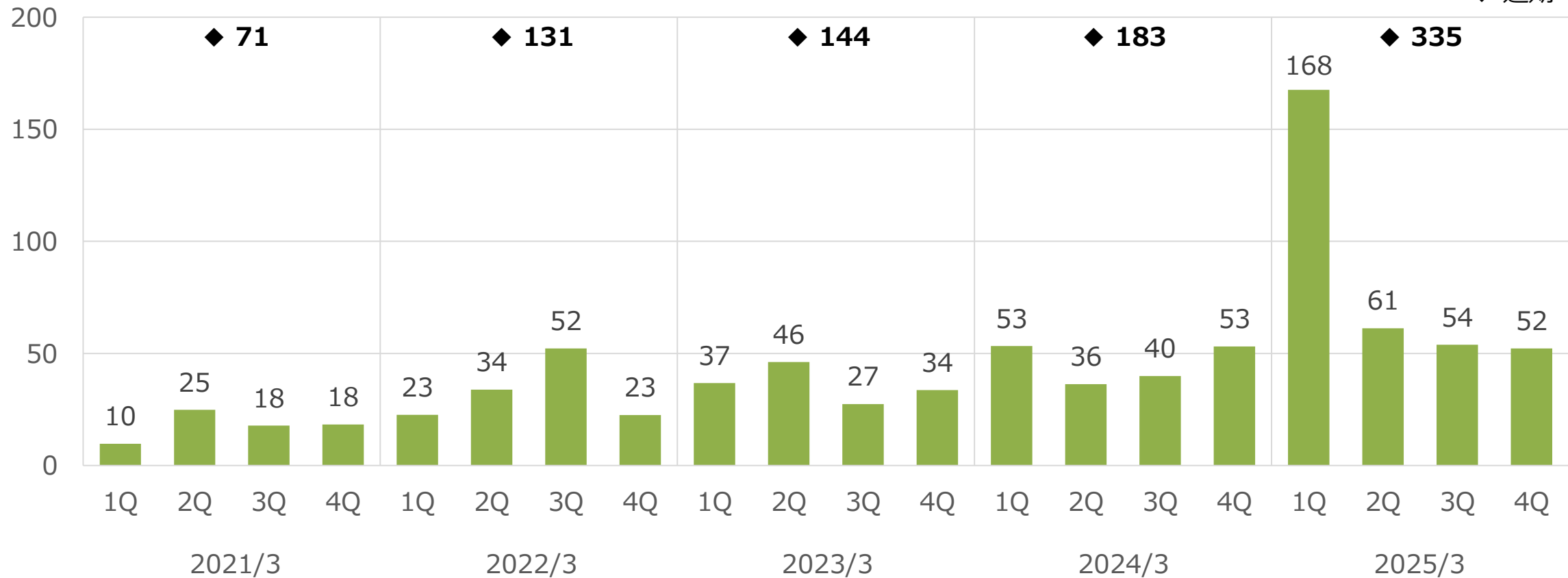
(億円)

◆ 通期



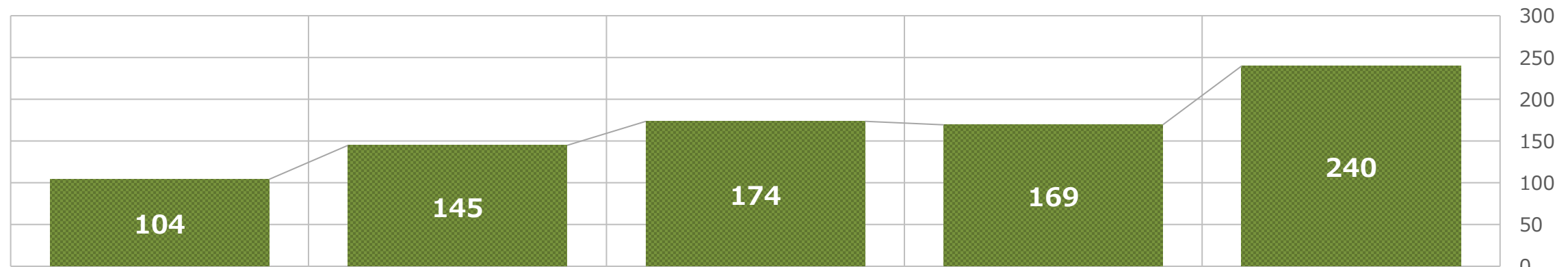
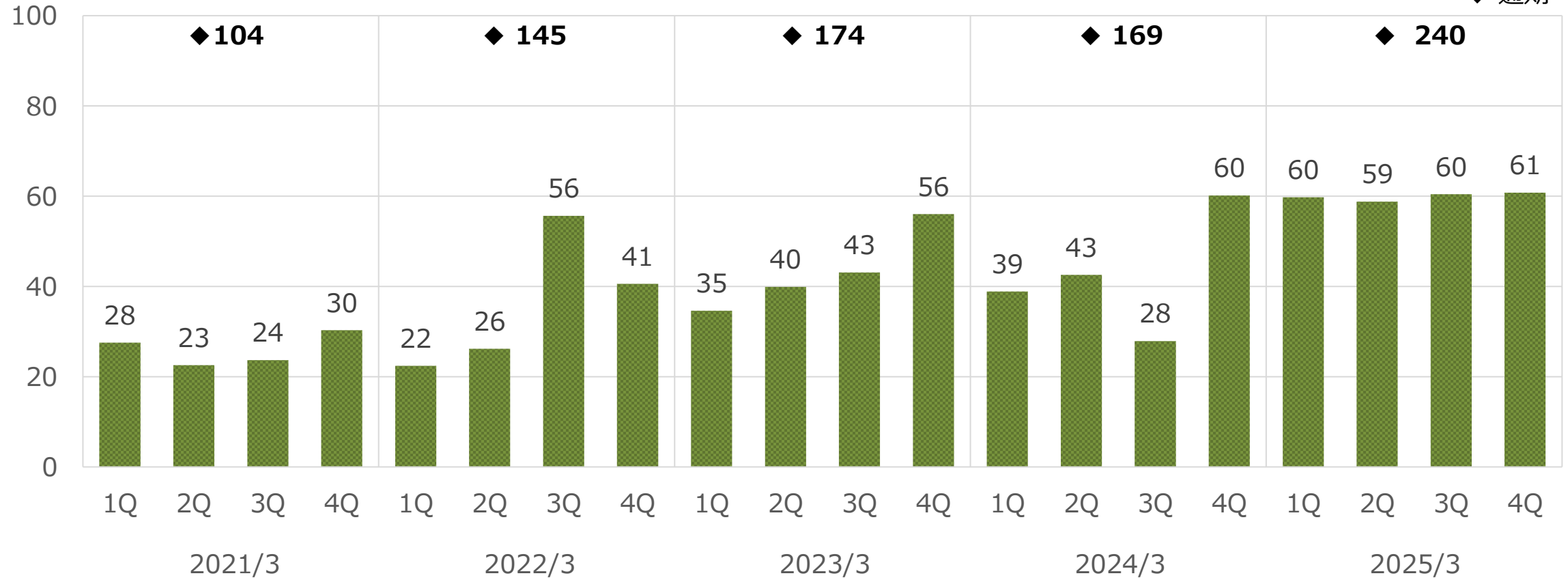
その他地域 受注高

(億円)



その他地域 売上高

(億円)



決算説明会

2025年3月期 経営概況

2025年5月20日

代表取締役社長 持田訓

Contents

目次

1. 2025年3月期実績と2026年3月期計画
2. 第7次中期経営計画 進捗
3. 2026年3月期 経営方針

01

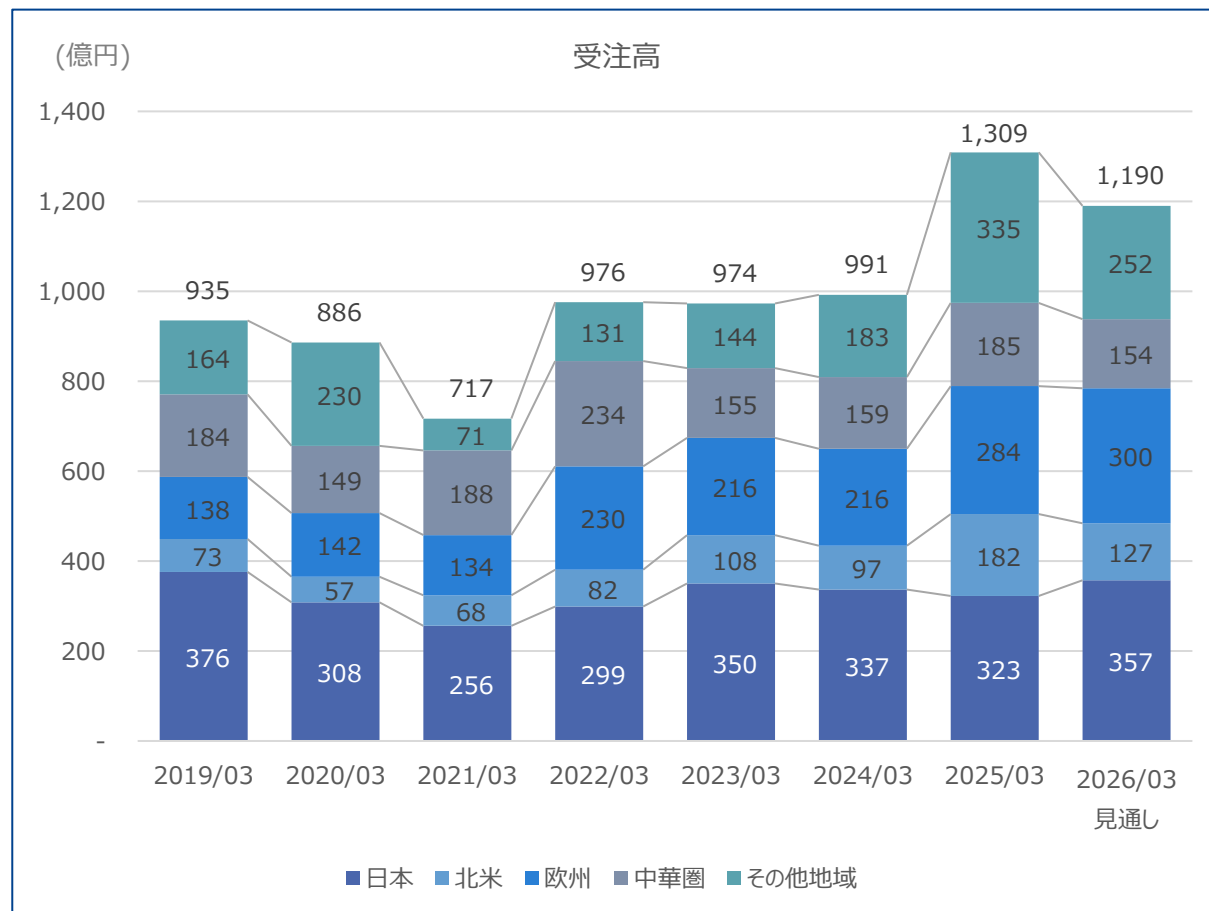
2025年3月期実績と2026年3月期計画

	2025年3月期状況		2026年3月期の見通し	
日本	- 人件費の高騰に加え人財不足が更に加速 - 生産性向上に加え、人財不足を解決する為に補助金を活用した設備は増加傾向 - 年々、物流費・人件費の高騰で価格転嫁が進行中		- 経営者の高齢化と収益問題で統廃合が進行中（二極化） - 収益改善及び人財不足を解決する為に補助金を活用した設備は増加傾向（生産性・省エネ・省人化がポイント） - 材料費/物流費/人件費は高騰で価格転嫁は継続中	
中華圏	- 内需の鈍化で景気回復が停滞し、印刷業の成長率は低い - 中小印刷会社の商業設備投資は激減も、大手印刷会社のパッケージ設備投資は堅調		- トランプ政権の関税引き上げで輸出が減少し、設備投資の鈍化とChina+1が加速する見通し - パッケージ分野での設備投資需要は継続して堅調の見込み	
北米	第二次トランプ政権の関税政策により製造コストが増加し、設備投資は慎重に		- 継続的にデジタル機の需要増加が予測される - 大企業で高付加価値パッケージ印刷機の需要が増加見込み	
欧州	drupa直後は設備投資が増加するも、ドイツなどの経済低調により欧州全体では横ばい		経済の見通しは堅調も、トランプ政権による関税のリスクは依然として不透明	
その他	【インド、ASEAN】 - インドは政府の教育推進政策もあり、出版・学参印刷の需要増加、パッケージ市場の需要も好調。 - インドネシア等は設備投資意欲が高く、パッケージ機が好調 【その他の地域】 - 韓国はウォン安と政治情勢の不安定さから停滞 - 中南米はdrupa直後は設備投資が増加するが、下期にかけて通貨安と金利上昇で停滞	 	【インド、ASEAN】 - インドは引き続き出版・パッケージ印刷機を中心に今後も好調に推移 - インドネシア、ベトナムを中心にパッケージ機の設備投資継続 【その他の地域】 - 韓国は経済見通し悪化、人材不足から自動化設備投資が増加の見込み - 中南米は経済リスクにより先行きが不透明	 

2025年3月期は受注・売上ともに増収、2026年3月期も売上は堅調に伸びる見通し

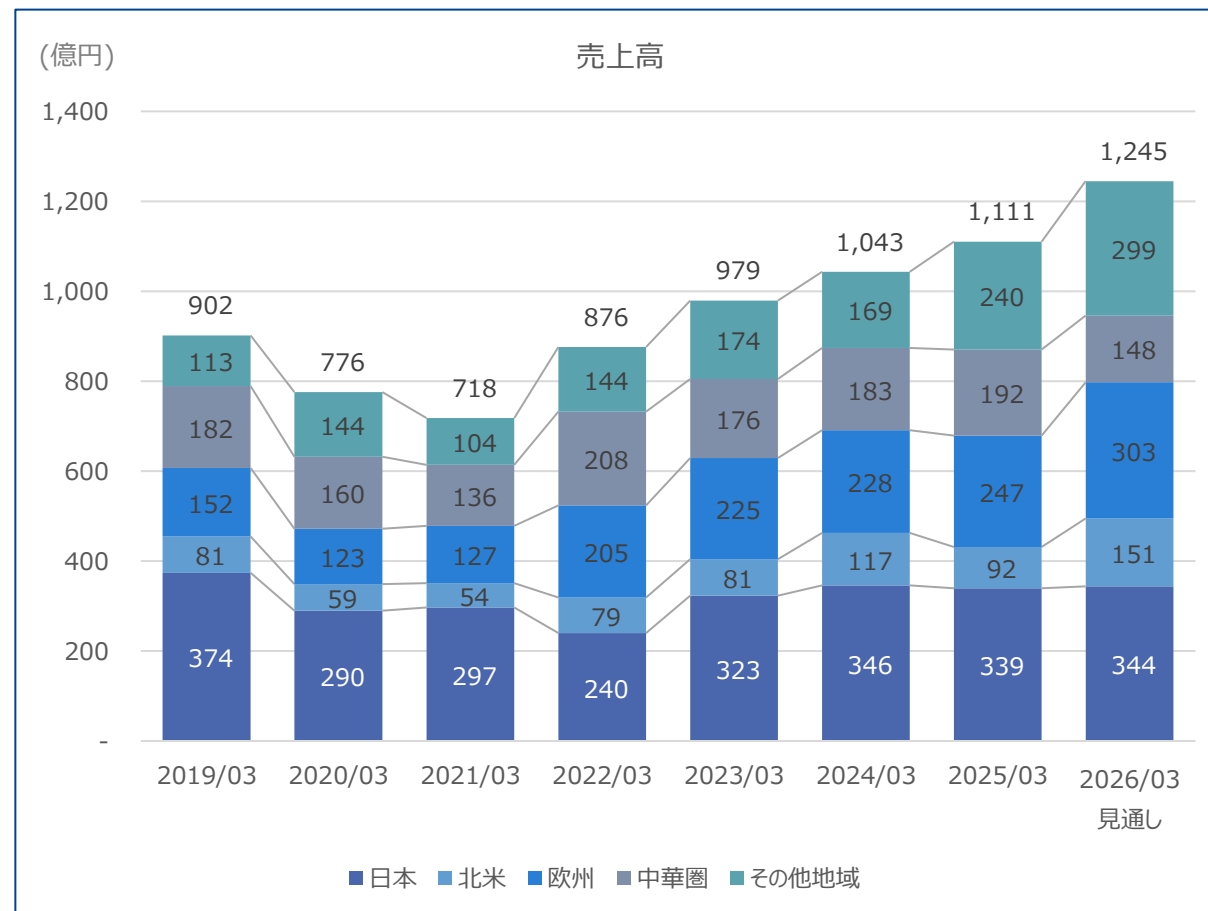
受注高

2025年3月期実績：1,309億円（2024年3月期比:132%）
2026年3月期計画：1,190億円（2025年3月期比：91%）



売上高

2025年3月期実績：1,111億円（2024年3月期比:106%）
2026年3月期計画：1,245億円（2025年3月期比:112%）



02

第7次中期経営計画 進捗

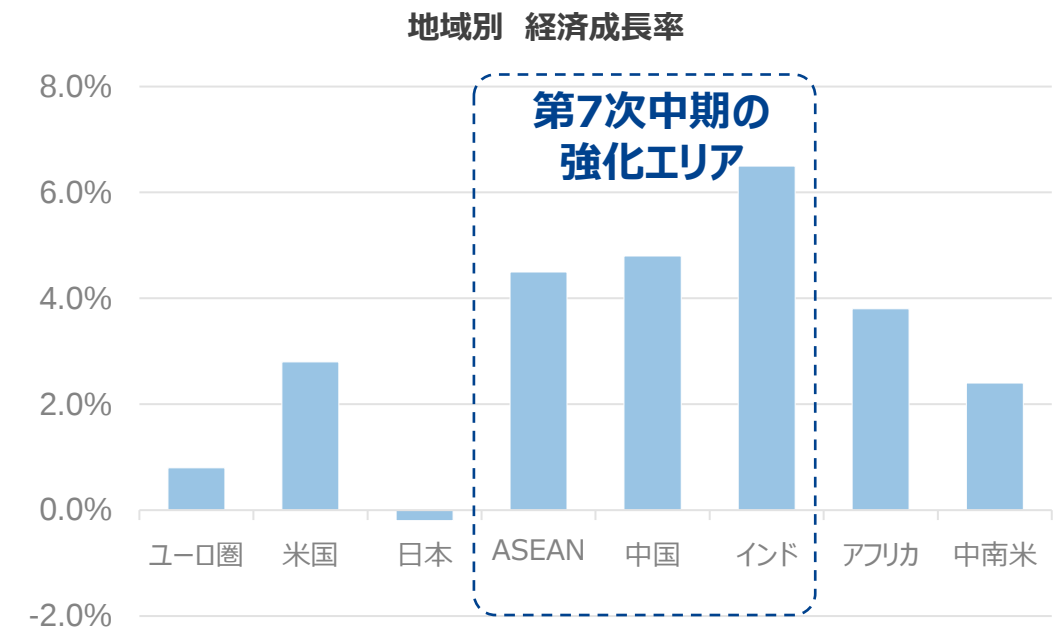
2025年3月期で中期目標の ROE 6.0%以上 を達成 営業利益率向上の取り組みを継続

	2025年3月期実績	2027年3月期目標 (第7次中期目標)
営業利益率	6.4%	7.0%以上
ROE	6.3%	6.0%以上

◆ M&Aにより成長市場であるアジア地域の営業体制の整備を完了

■ 中華圏、ASEAN、インドの「アジア地域3拠点体制」の整備を完了

- M&Aによる現地法人強化：インド、中国
- 現地法人設立：シンガポール、マレーシア、台湾 ⇒ マレーシアをASEAN地域の拠点化
- つくば（日本） / KKM（日本） / KNT（中国）の3工場体制でアジア地域の技術支援体制を確立



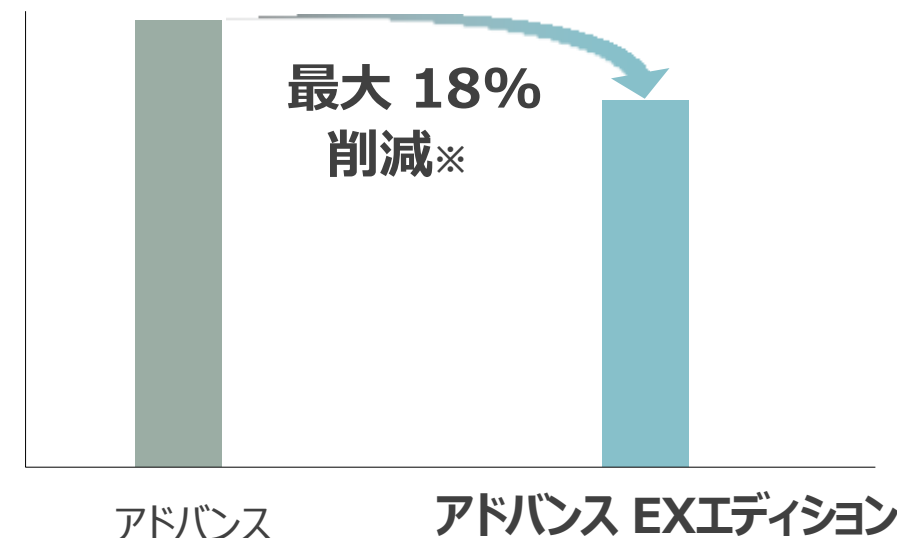
※数字は2024年見込みの経済成長率（IMF）

◆ リスロンGX/Gアドバンス EXエディションの販売好調

- 消費電力削減や損紙削減、生産性向上等の社会課題解決を実現するオフセット印刷機
- スマートインキングフロー、DCブローア、e-ミストなどの環境配慮仕様により、最大18%の消費電力を削減
- drupa2024から販売スタートし、全世界で約100台の導入が決定



消費電力
4色機油性モデルの場合



※ スマートインキングフローとDC ブローアを併用した時の効果

環境配慮仕様



スマートインキングフロー

最新の解析技術をもとに最適化されたローラー配列です。安定した濃度コントロールができ、印刷品質の向上が可能です。さらに、回転駆動の負荷低減により排気熱量とエネルギー消費量を削減します。



DCブローア

安定した用紙搬送を実現するKOMORIのDCブローアは、風量を効率よく得ながら、高回転・高効率と小型軽量化を実現した経済的で環境にも優しいブローアです。低エネルギー稼働と低発熱により消費電力を大幅に削減します。

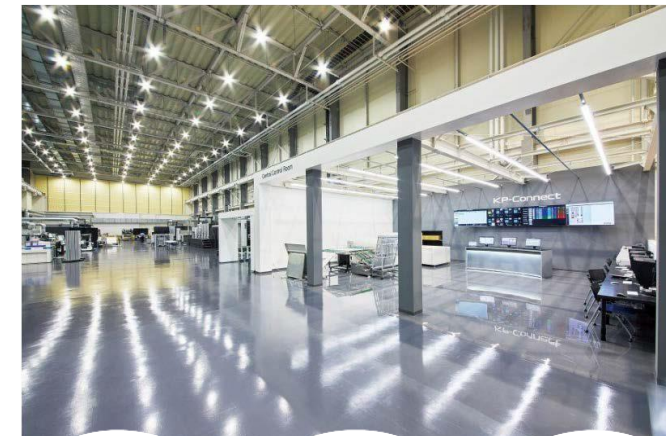
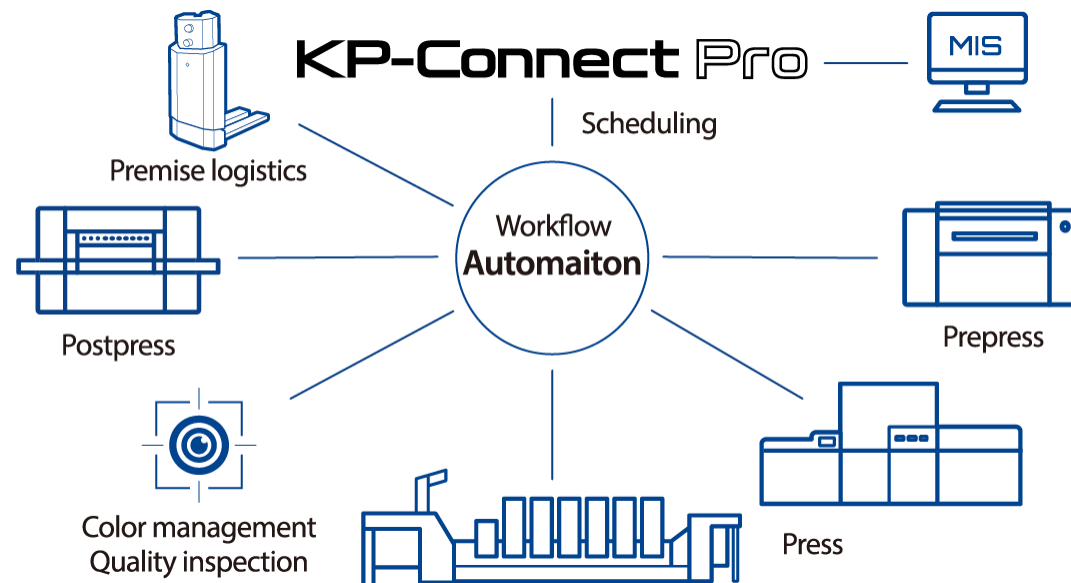


e-ミスト

マイクロミストが用紙に直接付着し、画期的な静電気対策システムです。用紙全体を加湿し、排紙部での紙前かが向上します。加湿時間・消費電力・消費水量においてエネルギー効率を最適化しています。

◆ スマートファクトリーの実証実験で生産性2倍を達成

- KP-Connectを中核とし、スケジューリング、プリプレス、プレス（オフセット印刷・デジタル印刷）、ポストプレス、カラーマネジメント、品質検査、構内物流に至る全印刷ワークフローを自動化
- KGCは「印刷会社」「アライアンスパートナー」「KOMORI」が一体となり印刷工場の生産性を最大化する「オープンイノベーションハブ」として稼働中
- オフセット事業を機械単体販売からシステム販売への事業変革を推進



◆ 世界的な大手パッケージ・コンバーターからの受注

- 環境保護の観点から脱プラスチックの動きが加速しており、紙器パッケージ業界は急速に成長
- KCM（Komori Chambon S.A.S.）は紙器パッケージ専用の印刷・後加工機械メーカー。世界的な大手パッケージ・コンバーターより複数台の受注を獲得
- 昨年度に実施した2つのM & A効果により、フレキソ印刷技術と米国でのロータリーダイ生産拠点を獲得し、欧米での継続的なロータリーダイ提供体制を確立

印刷～後加工までをワンパスで実現するKCM機



様々な印刷寸法を同一印刷機で実現可能で、サービス体制も充実



◆ 米国ドル紙幣の印刷局（BEP）より複数台の銀行券印刷設備を受注

- 10か国から、複数台の銀行券と諸証券印刷設備200億の受注獲得（2023年4月～2024年6月）
- 米国ドル紙幣の印刷局（Bureau of Engraving and Printing）より 複数台の銀行券印刷設備を受注
- KGC-Sを活用し、銀行券印刷機以外の次世代セキュリティ印刷技術創造の推進



グローバルに広がるKOMORI証券印刷事業



次世代セキュリティ印刷技術創造拠点「KGC-S」

◆ デジタル印刷機を新たな領域へ導く「J-throne 29」量産開始

- 北京展への出展と中国市場で受注したお客様へ出荷開始
- クラス最高の印刷速度6,000sphと高精度な反転式両面印刷により高い生産性と安定性を実現
- プレコート不要で紙種を選ばない柔軟性を提供
- イージーオペレーションで必要スキル低減化により人材不足を解消

J-throne 29

6,000 sph Max. printing speed
(single-sided)

Max. sheet size
585×750 (23×29.5) mm (in.) | **Precoat
Not Required**

Sheet thickness
0.06~0.6 (0.0024~0.024) mm (in.) (single-sided) | **Any
Paper Type**

Double-sided, Single-sided



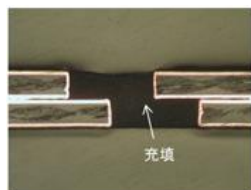
◆ ペロブスカイト太陽電池の量産化に向けた薄膜塗工技術の開発を加速

- 紙幣印刷機で培ったプリントテクノロジーを活用し、高精度な薄膜塗工技術をベースにペロブスカイト太陽電池の量産化技術開発を推進（2025年5月8日プレスリリース）
- AIサーバー向けガラスコア/ガラスインターポザーにも対応した真空印刷装置「SVM-6151IP2」を発表
- EVで利用されるMLCCの小型化に対応するギャップレス印刷技術を実現したMLCC製造装置を開発

真空印刷

SVM

タクトタイムを最大48%短縮しながら、消費電力を約20%削減。高アスペクトなスルーホールや0.1mm以下の小径ホールへの充填が可能



手の届かない隙間までも真空下で充填

ギャップレス印刷

RYURONE

スクリーン印刷の弱点を克服するギャップレス印刷技術によりMLCCの小型化に対応



安定した印刷精度を担保

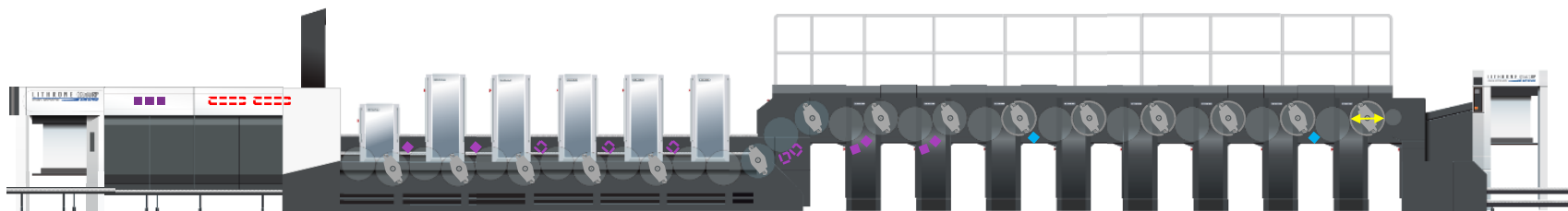
03

2026年3月期 経営方針

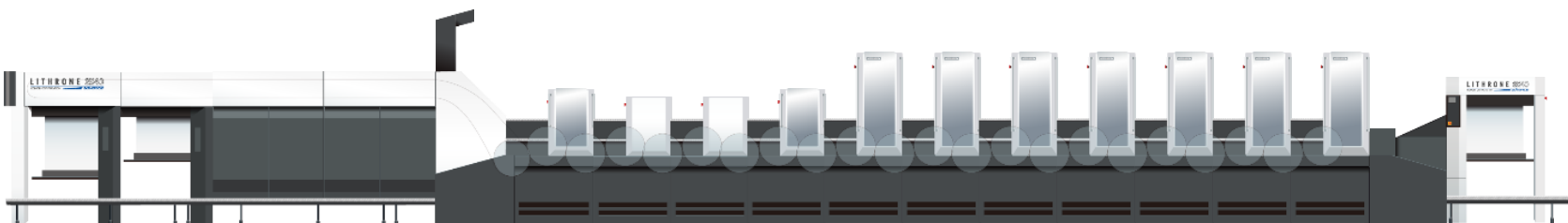
◆ 高生産性、高付加価値ソリューション： リスロンGX40/40RPアドバンス EXエディション

- お客様の多彩なニーズを高次元でクリアするKOMORIのフラッグシップマシン
 - ⇒ パラレル/スーパーショートメイクレディによるJob切替時間極小化と、見当や色調の自動制御による高品質印刷
 - ⇒ コーティングユニットやドライングユニット搭載により、全面ニスコーティングや疑似エンボスなどの高付加価値印刷

両面5×5色＋両面コーター装置付（トレーディングカード、食品容器、圧着DM）



片面7色＋ダブルコーター装置付（化粧品、医療品、食品、家電製品パッケージ）



■ 2024年10月内覧会



◆ 新型オフセット印刷機の開発：リスロンGX29アドバンス

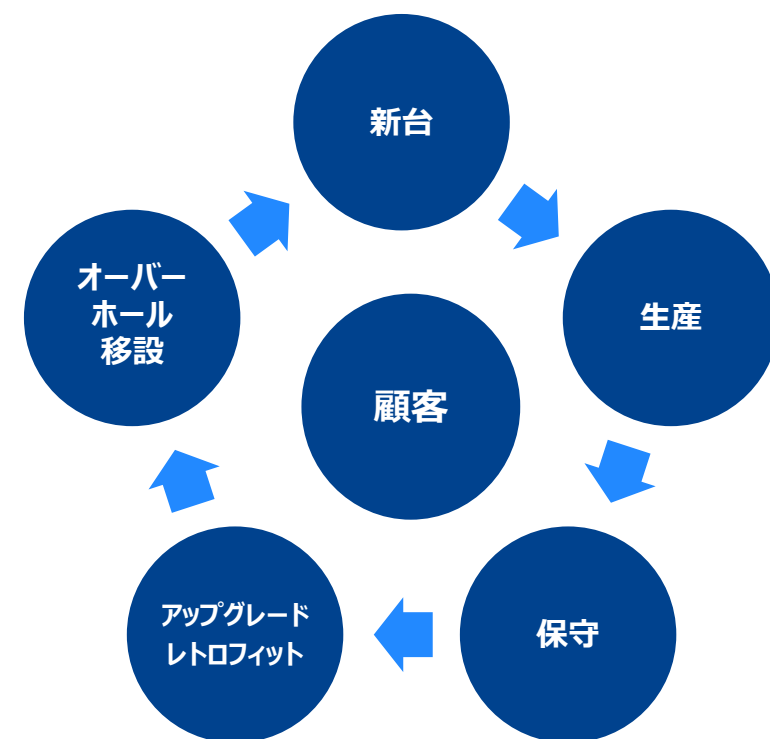
- 従来機種リスロン SX29をリニューアルし、2025年5月開催の北京展に初出展
- 特殊紙にも高品質な印刷が可能でパッケージの印刷にも威力を発揮し、多様な印刷ニーズへ対応
- 安定した給排紙性能とシステム強化により高速印刷と損紙低減を実現、最高のROIを提供するとともに温室効果ガス排出量も削減する環境配慮型のオフセット印刷機



LITHRONE GX29 advance

◆ 事業領域の拡大とPESP事業の強化

- セキュリティープリントテクノロジーを強みとした銀行券印刷機事業に加えて、パスポート等のハイセキュリティ印刷機事業へ事業領域を拡大。
- 全世界で稼働中の200台以上の銀行券・諸証券印刷機を対象に、アップグレードやレトロフィットの提案、保守契約の提案にてPESP事業を強化。



◆「J-throne 29」をグローバル市場へ本格投入

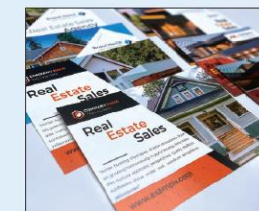
- 北京展への出展を皮切りに、中華圏やアメリカなどをメインターゲットとしてグローバル市場へ一気に展開
- 世界最高水準のROIを実現するJ-throne 29を原動力に、成長事業の目標に向けた取り組みを加速



Wide range of **substrate compatibility** thanks to UV ink



Thin paper : Book



Heavy stock : DM



Synthetic paper : Menu

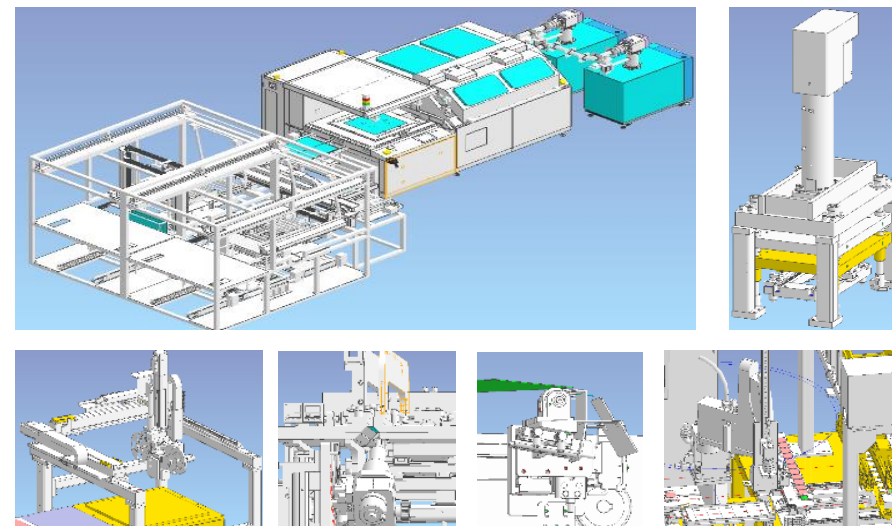
◆国内外での市場拡大と新技術を通じた成長戦略を推進

- 国内市場における**ファクトリーオートメーションのカスタム対応**を強化し、販売を拡大する
- 海外市場での販売を本格展開、特にアジアにおいて高機能基板（PCB）の製造工程をターゲットに強力推進
- 薄膜塗工技術および小型MLCC向けギャップレス技術の開発におけるパートナーとの共創を促進する

製造現場の生産性向上を実現

－ 各種工程のつながりを機能で表現 －

印刷機周辺のつながりの工程を最適に部品化することにより
製造ラインの効率化を図る



KOMORI

※当資料に含まれている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

※ 当資料では、表示未満単位を四捨五入して表示しており、内訳と合計が一致しない場合があります。